

# 第4次南阿蘇村子ども読書活動推進計画



令和7年3月

南阿蘇村教育委員会

# 目 次

## 第1章 計画の策定にあたって

- 1 子どもの読書活動の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 これまでの取組と子どもの読書活動の現状・・・・・・・・・・・・ 2
  - 1) 第3次推進計画期間中（令和2年～令和6年度）の取組
  - 2) 第3次推進計画期間満了に伴う実態の把握（アンケート調査抜粋）
- 3 第3次推進計画における成果と課題・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

## 第2章 計画の基本的な考え方

- 1 計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

## 第3章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組

- 1 保育所等における具体的な取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 2 小学校、中学校における具体的な取組・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 3 LOOP 図書室における具体的な取組・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 4 家庭に対して関係団体が連携して行う具体的な取組・・・・・・・・ 12
- 5 関係団体と施設等が連携して行う具体的な取組・・・・・・・・・・ 12

## 第4章 計画の推進に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

### 参考資料

- ・南阿蘇村子どもの読書活動に関するアンケート結果
- ・南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員会設置要項
- ・子どもの読書活動の推進に関する法律

## 第1章 計画の策定にあたって

### 1 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動の推進については、平成13年に制定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」（以下、「読書活動推進法」という。）に基づき、これまで総合的かつ計画的に推進を図ってまいりました。子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、すべての子どもが、自主的に読書活動ができるようこれからもその環境を整備していくことが不可欠です。

しかしながら、近年、私たちを取り巻く情勢は、グローバル化の進展や技術革新により社会構造が大きく変化しています。更にインターネットやスマートフォンの普及、それを活用したSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）等コミュニケーションの多様化により、情報を取り巻く環境も大きく変わり、子どもたちの読書環境に大きな影響を与えていることも確かです。

このような中で、子どもたちが心を豊かにし、生き抜く力を養うためには、読書活動推進法に則った推進体制の確立を図ることが大切であり、子どもたちに読書活動の必要性の意義をしっかりと伝えながら、時代のニーズに応じた読書環境の整備と、先を見据えた新たな展開も必要となってまいります。

そのような状況を踏まえた上で、ここに第4次南阿蘇村子ども読書活動推進計画（以下、「第4次計画」という。）を策定し、今後の方針として読書活動の推進を図るとともに、関係各位のご助言等をいただきながら、それらの環境整備に努めてまいります。

なお、読書活動推進法に基づく施策の策定は、熊本県が平成16年に「熊本県子どもの読書活動推進計画」である第1次肥後っ子いきいき読書プランを策定、5年ごとに改訂し、現在、第5次肥後っ子いきいき読書プランに基づき読書活動の推進が図られています。これを受けて、南阿蘇村は平成22年に「南阿蘇村子ども読書活動推進計画」を策定、その後5年ごとに改訂し、今回、第3次計画期間中における取組の成果と課題を整理して、本村における子どもの読書活動の方向性を示すために第4次計画を策定いたしました。今後、第4次計画に沿った事務事業を遂行していくことが、将来を担うすべての子どもたちにとって有意義な読書活動へと導くすべとなることを期待します。

## 2 これまでの取組と子どもの読書活動の現状

南阿蘇村では、平成 17 年 2 月に 3 村（旧久木野村、旧長陽村、旧白水村）が合併し、各庁舎にあった図書室を平成 22 年 2 月に南阿蘇村長陽中央公民館図書室に集約して、村民などへの貸出しを行ってきました。平成 28 年の熊本地震では、図書室も被害を受け、数カ月間の休室を経て再開し、本の貸出しを行ってきましたが、子どもたちの読書活動にとって十分な施設とは言い難い状況でありました。このため、村では旧久木野庁舎を施設改装し、令和 3 年 4 月 23 日に、1 階に図書室、2 階に子育て支援スペースと、フリールームを有する施設、「南阿蘇村複合施設 LOOP みなみあそ」を開館しました。LOOP みなみあそに開室した南阿蘇村図書室（以下、「LOOP 図書室」という。）では、乳幼児から高齢者まで幅広く、地域社会全体での読書活動の推進を目指しています。

### 1) 第 3 次推進計画期間中（令和 2 年～令和 6 年度）の取組

#### ① 保育所等における取組

ア) 日常の読書や読み聞かせの充実

- ・保育士による毎日の読み聞かせの実施

興味を持つ本は繰り返し読み聞かせを行い、一緒に読んだり表現する姿があった

- ・園内の行事（誕生会等）におけるおはなし（大型絵本やシアター等）の積極的活用

イ) 保育所図書書の充実

- ・本棚の整理と読書環境の整備

発達段階に応じ、分類ごとの絵本の配置や表紙を見せる展示等の工夫

子どもがいつでも手に取れる場所への絵本棚の設置と、読書用テーブルの配置等

ウ) 園児の読書活動推進のための他の施設との連携

- ・LOOP 図書室の活用

ボランティアや図書室職員の読み聞かせの実施

館内において様々な本に触れる機会づくり

園内での読書カード体験

LOOP 図書室での読書状況を家庭につなぎ、家庭での読書の定着を推進

#### ② 小中学校における取組

ア) 学校での読書時間の確保と読書の推進

- ・週 1 回朝の読書時間の設定（小学校全児童での取組）

- ・各学級における文庫の設置（子どもが日常的に本を手にとれる環境づくり）

- ・学年ごとに本を借りる時間を決め、担任の声かけにより図書室に行く機会の提供

- イ) 児童生徒の読書活動に関する意欲、関心を高めるための読み聞かせ等の活動
  - ・月1回以上、保護者を中心とした読み聞かせボランティアによる読み聞かせの実施
  - ・学期ごとに授業時間を使ったお話会の実施
- ウ) 児童生徒の発達段階や興味関心に応じた選書等の取組
  - ・学校図書室の図書の選書の工夫（先生方へのアンケートの他、子どもが読みたい本の情報を集める（カタログを置き、付せんを貼ってもらう）等の工夫）
  - ・学校図書室の本の配置や展示の工夫（子どもの興味関心を高める工夫）
- エ) 全校一斉読書や、読書月間などを利用した読書活動の啓発
  - ・読書月間や、読書の秋などの時期に併せ、貸出数によりくじ引きや読書チャンピオンを選出するなど、児童活動（図書委員活動）の中で実施
  - ・「うちどくの日」を設定し、ノーテレビノーゲームを前提に家族との読書の機会を促進
  - ・図書児童委員会を中心にした読書イベントの開催
    - 図書委員を中心に、本の紹介カードや、図書室コーナーの作成、読書スタンプラリーやビンゴカードなど、子どもが主体的に読書活動を推進
- オ) 他の施設等と連携した図書の充実
  - ・LOOP 図書室の図書を借り入れたコーナーの設置

### ③ 図書室における取組

令和3年4月に開室した LOOP 図書室は、子どもの読書活動を推進するため、子ども向けイベントの開催、来室による保育園児の読み聞かせや授業での見学受け入れなど、積極的に読書活動の推進を図っています。（開室からの主な取り組みは次のとおり）

- ア) 読書傾向を把握した蔵書の充実
  - ・計画的な図書購入の他、県立図書館子ども文庫の利用、NPO 法人南阿蘇えほんのくにから約 2500 冊の絵本の無償貸与等、児童書、絵本の充実を図る取組
- イ) 小中学校や学童保育等と連携し、図書資料の充実と読書活動の支援
  - ・学校図書室に令和6年度から月に30冊の配本を実施
    - 読み聞かせや環境整備の支援
  - ・放課後児童クラブ等での読書機会の提供（配本や団体貸出の実施）
  - ・定期的な保育園児への読み聞かせの実施
- ウ) 読書環境の整備
  - ・展示の工夫やクイズコーナー等、子どもから高齢者までの幅広い年代や、親子等で行きたくなるような図書室の整備

エ) 啓発広報・イベント等の推進

- ・ 児童生徒を対象とした季節イベントの実施
- ・ 読書推進に繋がる同好会活動や講座の運営
- ・ 図書室情報の発信

学校支援を通し、LOOP 図書室（LOOP みなみあそ施設や電子図書館、新刊図書など）の情報を図書室だよりとして配布

その他、SNS を活用した図書室情報の定期的な発信

オ) 乳幼児への読み聞かせと子ども読書活動の重要性の周知啓発

- ・ 乳幼児健診におけるブックスタート運動

カ) 図書室来室困難者の読書支援として電子図書館を整備、運営

特に児童書に注力

④ 地域と関係団体（及び施設等）が連携して行う取組

少子高齢化や家庭を取り巻く社会環境の変化が著しい現況において、子ども読書活動の推進には地域ぐるみの取組が不可欠であり、地域の方々の協力を得て以下の取組を実施しています。

- ・ 村内全ての学校（小学校3校、中学校1校）において定期的な朝の読み聞かせの実施
- ・ LOOP 図書室におけるイベントや保育園来室時の読み聞かせの実施
- ・ NPO 法人南阿蘇えほんのくにの絵本文庫（配本活動）と絵本講座、イベントの実施

## 2) 第3次推進計画期間満了に伴う実態の把握（アンケート調査抜粋）

①あなたは、本を読むことが好きですか？

小学生	全体		1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		
	調査年	R6	R2												
好き		39%	61%	47%	74%	36%	57%	35%	41%	44%	48%	42%	40%	34%	44%
どちらかといえば好き		43%	30%	44%	18%	41%	26%	50%	37%	39%	30%	43%	41%	43%	34%
どちらかといえばきらい		14%	7%	9%	5%	18%	9%	9%	14%	15%	14%	13%	14%	18%	14%
きらい		3%	2%	0%	3%	5%	9%	6%	8%	2%	7%	2%	4%	5%	8%

中学生	全体		1年生		2年生		3年生		
	調査年	R6	R2	R6	R2	R6	R2	R6	R2
好き		36%	42%	36%	30%	34%	52%	40%	25%
どちらかといえば好き		36%	34%	36%	36%	43%	15%	21%	40%
どちらかといえばきらい		20%	17%	17%	25%	17%	18%	27%	13%
きらい		8%	7%	11%	9%	6%	4%	12%	6%

②あなた（保護者）自身は読書は好きですか？

	就学前保護者		小学生保護者		中学生保護者		
	調査年	R6	R2	R6	R2	R6	R2
好き		28%	—	25%	32%	33%	23%
どちらかといえば好き		50%	—	47%	44%	34%	47%
どちらかといえばきらい		18%	—	24%	23%	26%	28%
きらい		4%	—	4%	1%	7%	2%

③お子さんは本を読むこと（読んでもらうこと）が好きですか？

	就学前保護者	小学生保護者	中学生保護者
好き	56%	31%	14%
どちらかといえば好き	39%	41%	35%
どちらかといえばきらい	2%	20%	31%
きらい	0%	3%	9%
わからない	3%	5%	11%

※参考 R2 資料

過去の調査（保育所・子育て支援センター保護者）			
	R2	H27	H22
好き	59%	75%	72%
どちらかといえば好き	39%	24%	24%
どちらかといえばきらい	1%	1%	5%
きらい	1%	0%	0%

④あなた（もしくは家族）は、お子さんが小さい頃、どれくらいの回数、本を読んであげていましたか（いますか）？

	就学前保護者	小学生保護者	中学生保護者
毎日	15%	31%	30%
週3～4回	29%	36%	27%
月に2～3回	39%	22%	29%
ほとんどない	17%	11%	14%

※参考R2資料

1か月に何冊くらいの本を一緒に見たり読んであげていますか（就学前の保護者）			
	R2	H27	H22
5冊以上	35%	39%	36%
3～4冊	26%	28%	24%
1～2冊	36%	31%	38%
0冊	3%	2%	2%

⑤あなたは、1か月に何冊くらい本を読みますか？

小学生	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		
	調査年	R6	R2										
0冊		0%	0%	9%	7%	3%	10%	5%	12%	8%	13%	9%	12%
1～2冊		38%	12%	14%	30%	29%	38%	29%	28%	26%	35%	31%	29%
3～4冊		30%	18%	27%	29%	27%	18%	27%	33%	34%	19%	42%	18%
5冊以上		32%	70%	50%	33%	41%	34%	39%	28%	32%	33%	18%	41%

中学生	1年生		2年生		3年生		
	調査年	R6	R2	R6	R2	R6	R2
0冊		29%	26%	26%	23%	33%	37%
1～2冊		33%	45%	47%	40%	36%	43%
3～4冊		27%	17%	16%	22%	13%	13%
5冊以上		11%	13%	11%	15%	18%	8%

⑥読書はお子さんにとって大切だと思いますか。

	就学前保護者	小学生保護者	中学生保護者
そう思う	98%	94%	92%
どちらでもない	1%	4%	6%
思わない	0%	1%	0%
わからない	1%	1%	2%

※その他、全てのアンケート調査結果は別紙資料添付

### 3 第3次推進計画（令和2年～令和6年度）における成果と課題

第3次計画策定前に実施のアンケート調査（以下、「前回調査」という。）結果と、今回のアンケート調査（以下、「今回調査」という。）結果を比べてみると、未就学児（保育所及び子育て支援センター利用保護者が回答）から中学生まで、全体的に読書が好きという割合は減り、どちらかといえば好きの割合は増えており、総合的には、好き、どちらかといえば好きの割合は前回調査に比べ4～9%減少しています。

保育所及び子育て支援センター利用保護者のアンケートでは、前回調査で1か月に保護者が読み聞かせる冊数「0冊」の回答は3%だったのに対し、今回調査の、月にどれくらいの回数読み聞かせを行いますかでは、「ほとんどない」が17%と増えており、アンケート回答者の98%が読書は子どもにとって大切と答えています。就業状況や家庭環境等の変化により、家庭での読み聞かせ時間の確保が難しくなっているのではないかと考えられます。読書活動推進の1つであるブックスタート運動を機に、保護者の読書活動に対する意識の向上と、子どもが本に触れることができる環境を、継続的に確保していくことが必要です。

次に、小学生のアンケートでは、1か月に読む本の冊数は、学年によりその傾向は異なるものの、「0冊」と答えた学年は、1つの学年を除いて全学年で前回調査より少なくなっており、学校での読書時間の確保や、学校図書室の工夫、児童図書委員会の活動が成果につながっていると思われます。今後も児童自身が自主的に読書活動に取り組み、読書習慣が身につくよう、読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書体験を深めるような機会の提供が不可欠です。

続いて、中学生では「本を読むことがきらい」、「どちらかといえばきらい」の割合が、小学生に比べると高く、全体の3割近くを占め、理由では「読むのが苦手」は前回調査よりも減少しているものの、「めんどくさい」「読む時間がない」が今回調査で半数を占めています。1か月に本を1冊も読まない生徒の回答には、「読みたい本がわからない」が前回調査で8%だったものが、今回調査では21%と増え、その他、ゲームやテレビ・動画を見ると答えた割合が34%と、SNSの普及等により本を読むことへの興味が薄れているように感じます。今後も学校図書室の充実を図り、小学生からの読書習慣の定着を目指すとともに、電子図書館の利用促進など、学年に応じた効果的な取組が求められます。

また、地域と関係団体が連携して行う取組では、読み聞かせボランティアや先生による読み聞かせが、小中学校で定期的に行われ、地域との連携が図られており、学校、地域で読書活動の推進に取り組むことができている。今後も取組を継続していくためには、ボランティアの確保と育成の他、連携体制の整備が必要になります。

最後に、令和3年4月に開室したLOOP図書室については、今回調査で、月に1回以上LOOP図書室に行くと答えた人は、小学生で25%、中学生で14%、就学前保護者が24%、小学生保護者が26%、中学生保護者が23%と、約4人に1人が月1回以上LOOP図書室を訪れていることがわかりました。一方で、行く機会があまりないと感じている人の半数以上が、LOOP図書室が遠い、行く時間がない、行きたくても交通手段がないと回答しており、保育所や学校、放課

後児童クラブ、施設等への配本の拡充と、電子図書館の利用の促進をより一層啓発することが重要です。そのような課題はあるものの、LOOP 図書室の開室により、休日や放課後に児童生徒が学習の場や居場所として利用しており、令和 6 年度からは暑熱避難施設としての指定を受けたことで、地域全体で LOOP 図書室の利用の促進と、読書活動の推進に努めています。

その他、アンケートの自由記載欄には子どもの読書活動推進に関して様々なご意見をいただきました。忙しい毎日を送る児童、生徒、その保護者が、読書の時間を確保することも難しい状況にある中で、少しの時間でも本を手に取り、「読書は楽しい」と感じる子どもが増えるよう、日常的に本に親しむことができる環境や機会を作る事業展開を目指すとともに、子どもの読書習慣の構築に向け、読書環境の整備、充実と、関係団体との連携を密にした取組の推進を目指します。

## 第 2 章 計画の基本的な考え方

### 1 計画の目的

この計画は、子どもたちが自主的に読書に親しむ習慣を育て、豊かな人間性や思考力、表現力を育むことを目指すものです。また、読書を通じて、学び続ける力や意欲を育て、生涯学習の基礎を築くとともに、感受性を高め、思いやりや協調性などの人間的な豊かさを養うべく、下記の 5 つを基本的な取組として、子どもの読書活動の環境整備を目指し、計画を進めていきます。

#### 1) 子ども読書活動推進のための基本的な取組

- ① 保育所等における読書活動の取組
- ② 小学校、中学校における読書活動の取組
- ③ LOOP 図書室における読書活動の取組
- ④ 家庭に対して関係団体が連携して行う読書活動の取組
- ⑤ 関係団体と施設等が連携して行う読書活動の取組

#### 2) 計画の期間

令和 7 年度から令和 11 年度までの 5 年間

#### 3) 計画の対象

この計画の対象はおおむね 18 歳までのすべての子どもを対象としています。なお、子どもの読書活動の推進に関する保護者、ボランティア、行政関係者等も対象としています。

## 第3章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組

### 1 保育所等における具体的な取組

幼少期は、人が生きていく上での基本となる土台を築く時期と言われています。生活の基本を覚える幼少期は、絵本などを通じて覚えることも多いはずですが、そして、最も感性が豊かに育つ時期に、読み聞かせをしてあげること、言葉と心を育みます。幼い頃からの読書習慣を身に付けることは「学びの習慣」を身に付けることにも繋がります。保護者はもちろん、周りの大人が子どもへ読書の楽しさを教える機会を増やすことが、幼少期の子ども読書活動には不可欠です。本を通じての「学び」のきっかけづくりに関係機関と連携して努めていきます。

#### 1) 家庭における読書活動推進の啓発

##### ①保護者が学ぶ機会としての家庭教育講座や育児講座等の開催

- ・子どもの読書活動の重要性、乳幼児期からの読み聞かせ等の必要性等の講座の開催

##### ②広報誌や保護者会等を通じての啓発

- ・広報紙（おたよりの配布）等による読書の重要性等の周知

おすすめ本の紹介や豊かな心を育む読書のよさや効果、幼少期の読書の重要性等

#### 2) 日常の読書や読み聞かせの充実

##### ①乳幼児の発達段階や興味・関心に応じた絵本等の活用、おはなし会の実施

- ・毎日の読み聞かせを通して、読書への興味・関心を高める活動の実施
- ・園内行事における、パネルシアターやエプロンシアター等の実施により興味関心を広げるとともに、同じおはなしの絵本や紙芝居の読み聞かせによる読書活動の定着

#### 3) 保育所図書の実充

##### ①安心して絵本や物語に触れることができるようなスペースの確保

- ・発達段階に応じた多様な分野の図書にいつでも自由に触れられるよう、各クラスの図書の実充
- ・園児の目線、動線を考えて本の配置を工夫した読書がしやすい環境の整備

##### ②保育士のスキルアップのための研修会や講座等への参加

#### 4) 園児の読書活動推進のため他の施設との連携

##### ①LOOP 図書室等の利用促進

##### ②南阿蘇に伝わるお話の読み聞かせの推進

## 2 小学校、中学校における具体的な取組

学校は、読書習慣を形成していく上で最も大きな役割を担う場所であり、その拠点である学校図書室は子どもの意欲的、自主的な読書活動の場になるべきであると考えます。また、交通インフラの整備に課題のある本村においては、学校の図書室こそが一番身近で子どもたちの読書活動を支える重要な施設と位置付けられます。そのために学校の図書室環境をハード、ソフト面共に整備し、子どもの読書意欲が向上するような仕掛け、仕組みづくりに取り組む必要があります。

すべての学校で、ボランティアによる読み聞かせが行われており、地域の方も子どもの読書活動推進に活躍されています。また、朝自習の時間等に読書の時間を設け、子どもの読書習慣が形成できるよう取り組まれています。

しかし、年齢を重ねると、学習や委員会活動、クラブ活動により、読書の時間が減っていくのも事実です。多忙な日々を送る児童・生徒も、少しの空いた時間に読書活動に取り組むことができるよう環境を整備し、関係機関が連携して推進を図ります。

### 1) 学校等における読書活動の推進

#### ①全校や学年による一斉読書、朝の読書の取組

- ・朝読書の時間を設定するなど、積極的に読書に取り組む環境づくりを推進

#### ②興味・関心を高める取組

- ・読書感想文コンクールや読書感想画コンクール等への参加
- ・児童生徒の興味・関心に寄り添う選書
- ・子どもが本を手に取りたくなるような展示の工夫

### 2) 読書活動に関する意欲、関心を高めるため、読み聞かせ等の活動の推進

#### ①ボランティアによる読み聞かせの実施

- ・月1回以上のボランティアによる読み聞かせの実施と、本に親しむ機会の提供

#### ②PTAと連携した家庭での家読（うちどく）の取組

- ・PTA全体会等での読書活動の啓発

#### ③図書委員会を中心に児童生徒が自ら考える図書のレイアウトや読書イベントの開催

- ・定期的なおすすめ本の紹介や、読書イベント実施による本に親しむ機会づくりの推進

### 3) 学校図書の充実

#### ①県立図書館の団体貸し出し子ども文庫の利用

#### ②LOOP 図書室の配本と定期的な本の入れ替えの実施

#### 4) 学校図書室専任職員の配置

学校教育と図書室を繋ぐ役割を持ち、子どもの読書活動、学習活動を支援する情報センターとしての学校図書室を整備し、有効に機能させる専門事務職としての学校司書の配置に努めます。

### 3 LOOP 図書室における具体的な取組

令和3年4月23日に開室したLOOP図書室は、幅広い世代に本に親しんでもらえるよう各世代対象の蔵書の充実に加え、郷土資料の収集に取り組み、電子図書館の運用を行っています。また環境整備では、おすすめ図書コーナーの定期的な更新や、ポップの作成、SNSを活用した情報の発信など、開室後4年間で一定程度必要な運営を進めてきました。令和6年度からは、更なる子どもの読書活動推進を目指し、学校図書室の支援を始めています。これよりは、令和6年読書活動アンケート調査の結果を基に、これまでの取り組みを振り返り、保育所、小・中学校、地域、関係団体との連携をより深め、子どもの身近である学校等の図書室の環境整備と、あらゆる施設等の蔵書の充実、LOOP図書室の事業を拡充し継続していきます。

#### 1) 保育所、小中学校等における子どもの読書活動の推進

- ①実態やニーズに応じた配本や読書相談等の実施
- ②学校図書室の環境づくりの提案と支援
  - ・学校図書室を訪問し配本、環境づくりの支援
  - ・肥後っ子いきいき読書アドバイザー事業の活用

#### 2) 地域における子どもの読書活動の推進

- ①多様なサービスの実施
  - ・乳幼児と保護者に対するサービス  
乳幼児健診におけるブックスタート活動により、親子での絵本との出会いの場を提供し読書推進を啓発
  - ・児童生徒と保護者に対するサービス  
放課後児童クラブや教育支援センター等、その他の施設への配本の実施  
家読（うちどく）の活動をサポートするコーナーの設置
- ②図書室における子ども読書スペースの環境整備と蔵書の充実
- ③図書室における「おすすめ本」等の紹介と情報の発信
  - ・見える場所への紹介コーナーの設置と、村広報誌での新刊等の掲載、SNSを活用したLOOP図書室の情報の発信
- ④体験（遊ぶ、作る等）と読書を結びつけた催しの開催

⑤体験や異年齢交流の中で、読書に親しむ機会の設定

- ・子どもからお年寄りまで幅広い年代や、親子等で行きたくなるような図書室の整備を目指し、「情報提供」としての機能だけでなく「交流の場」として機能を持つ、南阿蘇らしい施設の維持

**3) その他**

- ①図書室職員の資質向上を目的とした研修会の実施

**4 家庭に対して関係団体が連携して行う具体的な取組**

子どもの読書習慣は、毎日の生活によって形成されるものです。読書活動が子どもの生活の一部として位置づけられるように、保護者自身が子どもと一緒に読書に親しみ、読み聞かせを行い、時には本と一緒に選ぶような環境を目指します。しかし、保護者の共働きや、インターネットやスマートフォンの普及等により、保護者自身の読書をする時間も減っています。そのような多忙な日々の中に、少しでも親子が読書に親しめるような環境を整えるため、広報等を通じて啓発に努め、読書の重要性について保護者の理解の向上に努めます。

**1) 家庭での読書時間の確保**

- ①家庭で、読書や読み聞かせができるように学校と連携を図り、本の貸出しや、本の紹介などを行いながら、読書の啓発に取り組みます。
- ②親子で読書をするような時間を設け、「家読（うちどく）」の推進活動に努めます。
- ③空いた時間などで自主的に読書に取り組むような啓発を行います。

**2) 読書活動に関する講座への参加の促進**

- ①子ども読書の意義、大切さの理解を深めるために、講座や、研修会などへの参加を促す取り組みを推進します。

**3) 親子で楽しく読書ができる環境の整備**

- ①広報や学校の便りなどで啓発を行い、家族で読書に親しめるような環境づくりに努めます。
- ②学校図書室、LOOP 図書室の利用を促進し、本の貸出しを行い、親子で読める本の提供に努めます。

## 5 関係団体と施設等が連携して行う具体的な取組

子ども読書活動の推進には、地域ぐるみの取組が不可欠です。地域が学校等と協力して読み聞かせなどの活動を行うことで、より大きな効果が得られます。各施設単位だけでは行うことができない取組も、相互に連携し合うことで子ども読書活動推進のために大きな力になります。また、南阿蘇にはNPO法人南阿蘇えほんのくにという子どもの読書活動推進のために活動する団体があり、様々なイベント、配本活動、大人のための啓発活動などを行っています。南阿蘇村の将来を担う子どもたちのため、村全体が連携しながら、読書活動の推進を行っていきます。

### 1) 地域ボランティアによる活動の推進・支援

- ①読み聞かせボランティアをはじめとする地域ボランティアの活動を広く紹介し、多くの方が活動への理解と参加の促進を図ります。
- ②ボランティア対象の研修会等への積極的な参加を促します。
- ③校区を越えた読み聞かせボランティア同士の情報交換や交流の場を整備し、地域をあげての読書推進活動の気運の醸成を図ります。

### 2) 読書週間等に取り組み子どもの読書活動を推進

- ①PTAを始め各種関係団体が連携して子ども読書週間等の啓発を行い、各施設それぞれで子ども読書活動推進の取組に努めます。

### 3) NPO法人南阿蘇えほんのくにと連携した活動の推進

- ①えほんのくに文庫（配本活動）の利用を促進し、子どもたちの読書活動を推進します。
- ②NPO法人南阿蘇えほんのくにが行っているイベント等の広報を行い、読書に親しむことができる場所の拡充を目指します。

## 第4章 計画の推進に向けて

本計画を南阿蘇村の子ども読書活動推進のための指針として位置づけ、計画の推進状況の確認、計画の推進に関する見直しや広報、啓発方法の検討、各団体の連携協力体制の充実を図ります。

### 目的

#### 子どもたちの読書習慣の形成

村、LOOP 図書室、保育所、学校、家庭、ボランティアが連携し、子ども読書活動推進のための環境整備に努め、より多くの子どもが読書に親しむことができるような活動の活性化に取り組む。

南阿蘇村子ども読書活動推進計画

### 基本理念

読書を通じて、語彙力、読解力、思考力、表現力等の生きていく上で基本となる力を養い、人生をより深くし、生涯にわたり読書活動に親しんでいけるような習慣づくりを目指す。

子ども読書を支える村・LOOP 図書室・学校・保育所・家庭・地域ボランティアの連携

#### 家庭・地域

- ・読書時間の確保
- ・読書環境の整備
- ・「家読」の推進
- ・ボランティアによる読み聞かせ活動の場の提供 など

#### 学校・保育所

- ・読書時間の確保、読書の推進
- ・読み聞かせ等の活動の推進
- ・図書室資料の充実
- ・図書室からの団体貸出し等の利活用 など

#### 連携

子ども読書活動推進のための環境整備

#### 村・LOOP図書

- ・図書資料の充実、支援
- ・LOOP図書室の読書環境の整備
- ・読書活動推進のための啓発
- ・ブックスタート運動等の推進 など

## 参考資料

- ・ 南阿蘇村子ども読書に関するアンケート結果
- ・ 南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員会  
設置要項
- ・ 子どもの読書活動の推進に関する法律

南阿蘇村子どもの読書活動に関する  
アンケート結果

南阿蘇村教育委員会

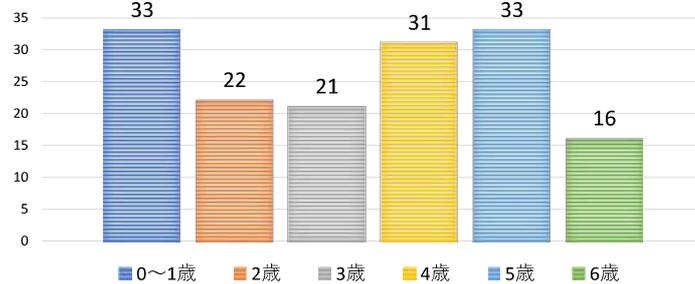
令和6年10月実施

# 就学前保護者 集計表

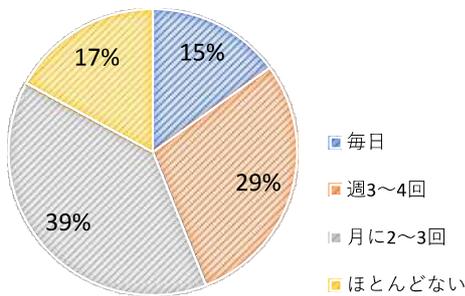
お子さんの年齢は何歳ですか。

保護者の回答数  
131人

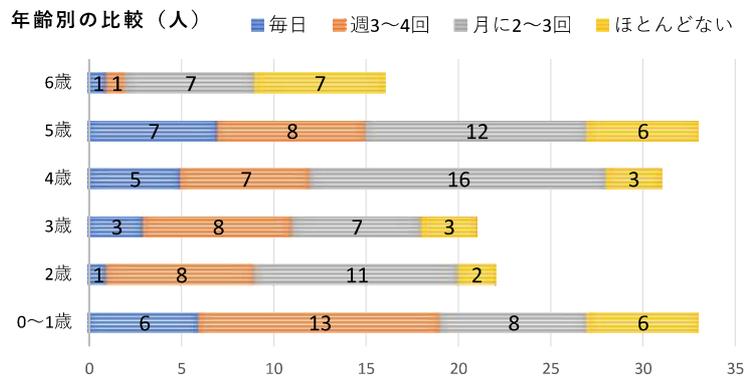
子どもの年齢別



あなた（もしくは家族）は、お子さんにどれくらいの回数、本を読んであげていますか。



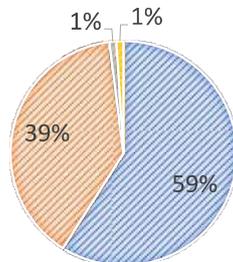
年齢別の比較（人）



お子さんは本を読むこと（読んでもらうこと）が好きですか。

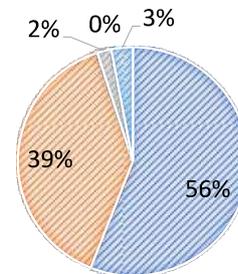
R2

- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらかといえばきらい
- きらい



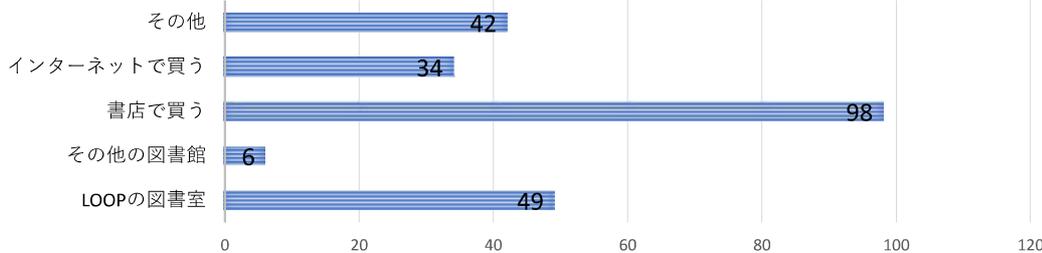
R6

- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらかといえばきらい
- きらい
- わからない



お子さんが家で読む本は、主にどのようにして手に入れていますか。

複数回答（件数）



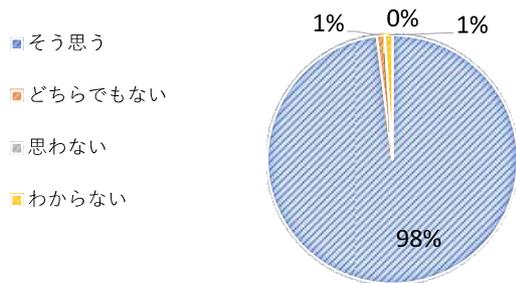
その他の図書館

- 大津図書館4人
- 菊陽町図書館1人

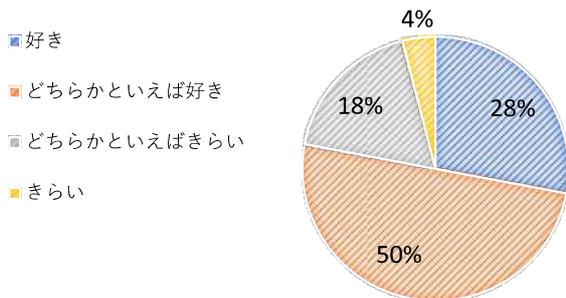
その他の意見

- ・いただいた本
- ・兄弟の本
- ・定期購読（ブッククラブ）
- ・友人、知人からもらう
- ・ゆずってもらう
- ・こどもチャレンジ
- ・古本屋、お下がり
- ・おさがり
- ・保育園注文
- ・絵本のアプリ
- ・おばあちゃんに買ってもらう
- ・友だちや甥っ子姪っ子からもらった絵本
- ・小学校の姉兄が借りてくる

読書はお子さんにとって大切だと思いますか。

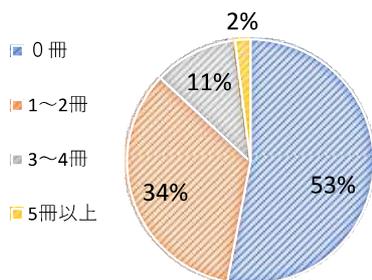


あなた自身は、読書は好きですか。

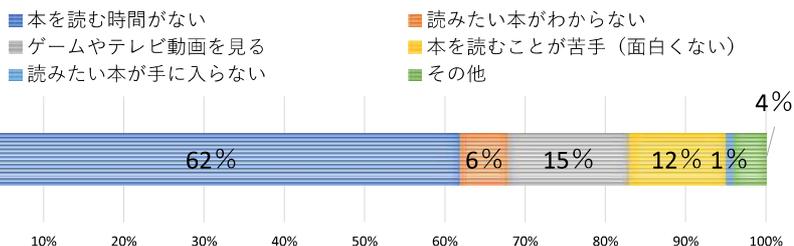


あなた自身は、1か月に何冊くらい本を読みますか。また「0冊」と答えた人はその主な理由

何冊くらい本を読みますか



0冊と答えた人はその主な理由

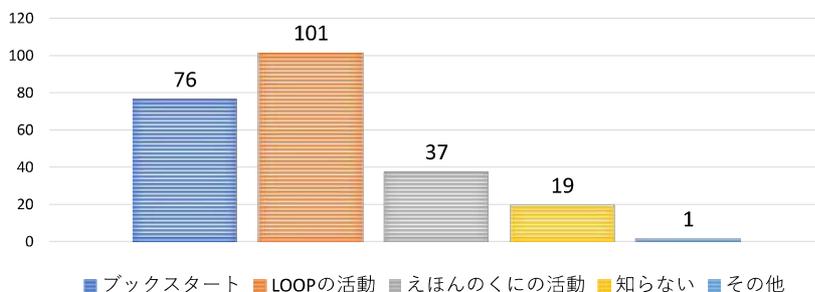


その他の意見

- 産後長い文章が読みにくくなった
- 読む時期は読むが、今は違うことに時間を使ってしまい読めていない。
- 仕事の帰りが遅く暇がない

本村内で行われている「子どもの読書活動推進」につながる以下の活動で、あなたが知っているものはありますか。(複数回答可)

複数回答(件)

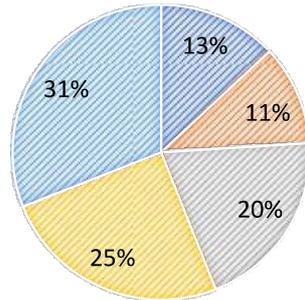


その他の意見

- ・小学校でのよみきかせの会 (おはなしくりん)

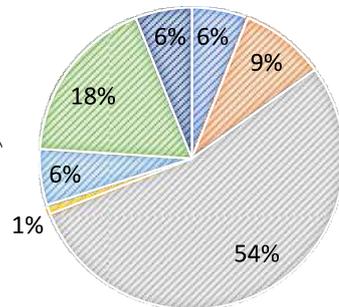
あなた自身は、LOOPの図書室にどれくらいの回数行くことがありますか。

- 月2回以上
- 月1回くらい
- 2～3か月に1回
- 年に1～2回
- 行くことがない



LOOPの図書室に行く機会があまりないと思う人はその理由はなんですか？

- LOOPの図書室を知らない
- LOOPの図書室が遠い
- 行く時間がない
- 行きたくても交通手段がない
- 行こうと思わない
- 本は買うことが多い
- その他

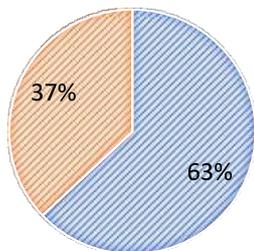


**その他の意見**

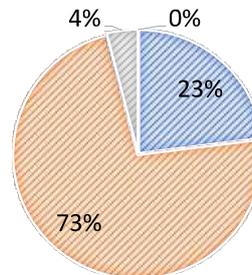
- ・以前、違う図書館で借りた本に子どもが落書きしてしまい、買って返さないといけなくて、それがめんどうと思い借りるより買うようになった。
- ・本の数が少ない
- ・子供が大きな声を出したり、棚に並んでいる本で遊んだりするので他の人に迷惑がかかると思い、なかなか行けない。
- ・開館時間、開館日が合わない
- ・初めての場所に行きにくい
- ・たくさん本を持っている。繰り返し読む 加えて、借りた本には加筆できないため。

パソコンやスマートフォン、タブレットで本を読んだことがありますか。「ある」と答えた人は何を使って読んだことがありますか。

- ある
- ない

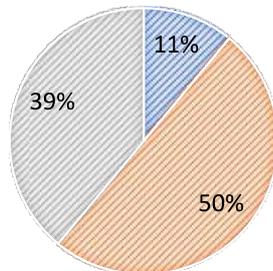


- タブレット
- スマートフォン
- パソコン
- その他



南阿蘇村電子図書館を知っていますか。また利用したことがありますか。

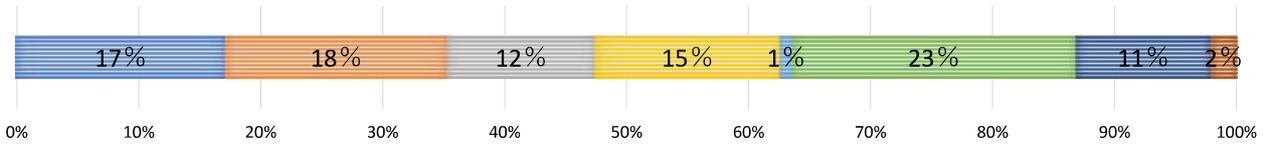
- 利用している
- 知っているが利用したことはない
- 知らない



本を読むことの良さや大切さは何だと思いますか。

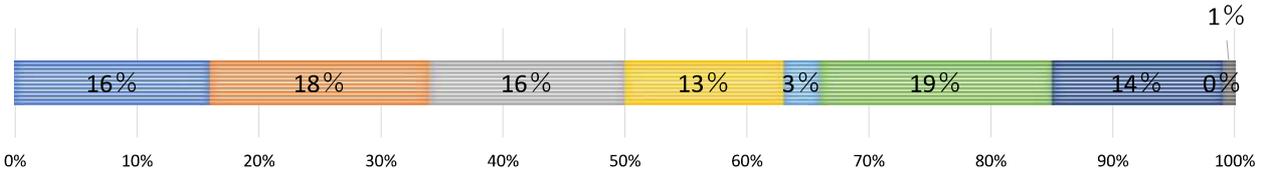
R2

- 知らないことがわかる
- 考える力がつく
- 国語の力がつく
- 楽しい
- 友達との話題になる
- 感性が豊かになる
- 集中力がつく
- その他



R6

- 知らないことがわかる
- 考える力がつく
- 国語の力がつく
- 楽しい
- 友達との話題になる
- 感性が豊かになる
- 集中力が身につく
- わからない
- その他



子どもの読書活動推進に関して、保護者の意見を自由にお聞かせください。(参考：どうすれば子どもが読書に親しむようになると思いますか？また、子どもたちの自律的主体的読書活動のために課題となるものは何でしょうか？など お聞かせください。)

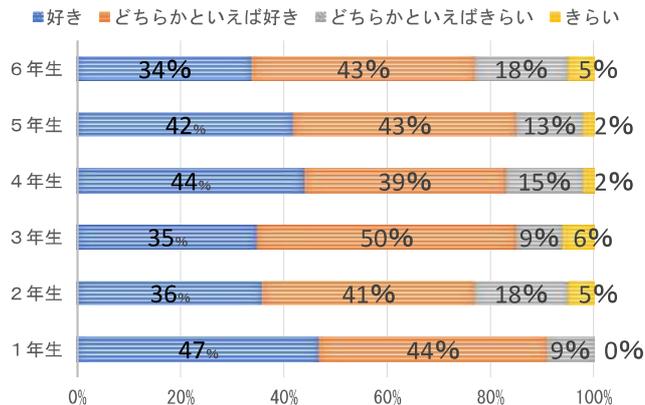
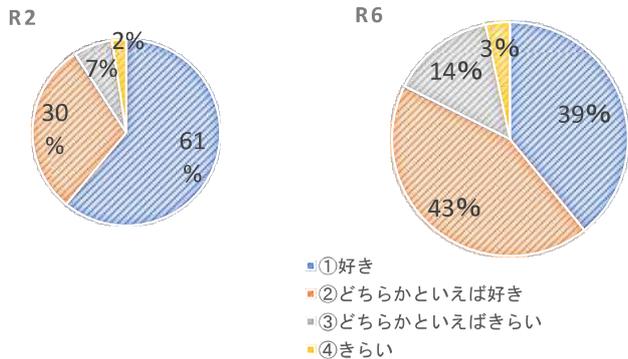
- ・親が読書の習慣を身につけるほうが良いかと（難しいですが）読み聞かせのイベント回数を増やし、本に触れる機会を増やす。
- ・本を読むことで、子ども自身考える力を育むことができるので、積極的に活動推進には参加させたいです。
- 自分が小学生の頃などは、朝読み聞かせというものが本に触れる機会があったので、そのような活動を継続的に実施してほしい。（子ども同士のコミュニケーションにもなる）
- ・毎日少しでも読書する時間を作ると、読書する習慣がつくのではないかと思います。
- ・まだ1歳なので絵本はあまり読みませんが、あそび絵本（動いたり、感触があるもの）は興味を示すので、そこから読む楽しむということをはらせてます。まずは楽しい、おもしろい！という経験につながるものを選んでみてはどうでしょうか？
- あとは大津図書館にあるリクエストしたら購入してもらえするなど。
- ・家庭で読む、読んでもらう機会を作ることがきっかけになると思う。
- ・現在はタブレットなどが普及した事で、便利にはなると感じます。しかし、本に触れる機会が減る事によって、自分で本を探したり探している中で、“あっこれも読んでみたい”と発見したり、感じたりする事が彼らの体験の中では少ないと感じます。
- 欲しい情報を調べれば、数秒で情報が取れるという事は、その中で自分で考えたり、考察や推測する事（その過程）が失われる為、本を読む事、言葉を辞書で引いてみる事を子育ての中で大事な事かなといつも考えています。
- ・読みたい本を携帯から選択する → 図書室であらかじめ注文した本を準備 → 日時指定で受け取るだけのシステム → 家が遠かったり行けない人は宅配のシステムも良いと思う → 月額制のサブスク
- ・LOOPの図書室には子どもを連れて行き、本を読んだこともあります。
- 村に図書室があることは素敵なことだと思います。うちの子は絵本が好きで、子どもの手の届く場所に絵本を置いておくと、毎日絵本を見て読んでと言ってきます。いそがしい時でも、子どもをひざに乗せて読んであげると子どもも喜ぶし、私も笑顔がみられて嬉しい気持ちになります。走り回ったり、ギャーギャー言う時もありますが、絵本を見ている時、読んであげている時だけは落ち着いています。今は絵本のページをめくる時にくしゃくしゃにしてしまったり、やぶってしまうこともあるのですが、これから先図書室を利用させていただきたいと思っています。
- 本が面白い、楽しい、感動する、ワクワクすると思ったら、読みたい気持ちになると思います。どんな本があるのか（本の内容）知らない子どもも多いと思うので、この本おもしろそうと思えたら読みたくなるのかなあと思います。
- 私自身、絵本はたくさん読んできたので、子どもにもすすめていきたいです。
- ・本が近く（自分の手の届くところ）にあること、読み聞かせをしてくれる大人が周りにいることかなと思います。
- 本棚を見て、本の表紙を見て、そこに物語の世界が広がっていることがわかると、自分から手に取るようになるのかなと。
- どうしても現代はスマホやTVの方が手の届くところにありがちで、大人も含め（大人の方がより）そちらに時間をとられてしまうので、意識的に本に向かう時間をとりたと思っています。
- ・興味を持てれば触ったり見てみようかな？につながると思うきっかけ、最初のとっかかりとしては本のある環境を作る、や本屋さん、図書館と一緒にいくことも大事だと思う。
- ・家にいると、どうしてもすぐ楽しめるYouTubeだったり、動画だったりを見てしまいます。
- わくわく広場などの読み聞かせがあった時には、よくどんな話だったか楽しそうに教えてくれます。
- 読書は集中力や想像力、感性も豊かになり、とても子供にとっては良いことだと思います。自分の好きな絵本を選んで見る機会があればいいなと思います。
- ・まだ小さいので、与えていると（置いておいたりすると）破ったり、らくがきをしたりするのを気にしてます。
- タブレットやスマホで読み聞かせできたら、今の私にはとても助かります。保育園でもやっていただいているのもとてもありがたいです。
- ・課題：子どもが自分たちだけで本を借りに行ける場所に図書館がない。親が連れて行かないと難しい。移動図書館があったらいいのになあ。電子図書より手に持ってページをめくってこそ本の良さがある。図書館の1ブースにおゆずりコーナーみたいな自由に持ってきたり、持って帰ったりできる本を置いてほしい。子どもが大きくなると赤ちゃんの本の居場所にも困る。
- 子どもの時に図書館の本はつまらないイメージがあった。楽しそうな本の存在に気づけない配置だった。TSUTAYAみたいな子どもが興味をそそるPOPでもあったら楽しく学べる本の存在に気づきそう。
- ・LOOPの図書室に行く機会があまりない。仕事などしているところに行く機会がないため、保育園などで本の貸し借りができたらもっと本を読むことが増えていいのかなと思います。「子どもたちで貸し借りしても勉強になるのかなと思います」
- ・子どもと一緒に過ごす時間が長いと良いのでは？習慣をつけられるため
- ・よみかかせの動画があれば利用したいです。
- 本当は図書室も利用したいのですが、子どもが小さいうちは本を傷めてしまうのが心配でちょっと気がひけます。
- 折ってしまったりやぶれたりシール貼ったりなど家では見られるので、もっと大きくなったら利用したいです。

・家に本がたくさんあって、親が本が好きだと子どもも好きになると思います。小さい頃からテレビやスマホでの動画をセーブしている  
ので、その効果があったかなと思います。  
テレビや動画になじむ前に、絵本を読んでもらうことは楽しい、そこまでの親のがんばりが重要だと思います。核家族・共働きだと本当  
にきついですよね。本だけはがんばりました。  
ユーチューブの画面消して、音声だけで昔話とか流すのは親が読んであげられない時いいかもしれません。・子どもの絵本→児童書への  
移行のうながし方を知りたい。  
・忙しくなかなか時間がとれないことが現実ですが、子どもが「本をよんで」と持ってくる時は極力読んであげるようにすること。  
親も子どもと一緒に本を読む習慣をつける。やはり親が本を読まない子どもも読まない気がします。  
もう少し大きくなってから（小学校くらい）だと、マンガが読書習慣の入り口でも良いのではないかと思います。  
携帯も便利になり、画像や映像として入ってくることも多いので、活字を読む機会を増やさなければいけないあと個人的に感じていま  
す。  
・絵本の読み聞かせはとてもいいと思います。自然に文字もおぼえて、絵本の力はすごいです。これを読んだら寝ようねと、寝る前の  
ルーティンにもなるので子供の目につくところに絵本があるといいですね。  
私は今も昔も子供達は絵本に親しんでいるように思えるのですが…  
・本に触れる機会が増えて欲しいが、購入する事や本を借りに行き、返却しに行く事が負担になり、本を読んであげたくても難しいのが  
現状。  
・まずは興味を持ったときに絵本が読めるように、欲しいと言ったものや親が気に入っている本を本棚に置いています。保育園でも読み  
聞かせをしていただき、絵本は身近な存在になっています。自然と読むようにしていたら、今ではほぼ毎日自分で好きな絵本を読んでいま  
す。テレビや動画視聴などの制限がなければ、本に触れる時間は減ってしまうかもしれません。そのため、本を読むことを強制はしま  
せんが、その他の活動にルールや制限はつけていますが、本を読むことに関しては、制限をつけていません。  
・下の兄弟だとなかなか時間をとることが難しいので、あまり本を読めてません。  
読み聞かせのイベントを土日に開催しても、他の子どもの用事があったりでなかなか時間が取れないです。図書館を利用する人が増える  
ことが本に興味をもつことだと思います。親がお出かけ先をたまに図書館にするなどして、利用が増えるといいなと思います。  
・子どもが過ごす空間に、本がある環境作りを意識的に行うことで、子どもたちが読書に親しむ経験を積むことはできると思います。  
我が家の場合、子どもが読書好きになるかは、子どもの性格に依るところが大きいかもしれません。  
自論ですが、子どもにおいて電子書籍では読書活動を活性化できるとはあまり思えません。  
子どもの興味関心にあった本が、子どもの身近にあり、すぐに読める、そういった環境を家庭やこどもの過ごす場所に作っていくことが  
課題だと思います。  
図書館はありますが、村内で子ども向けの本を手にとって購入できる場所がコンビニしかないのも寂しさを感じます。（世間では書店が  
次々と閉店しているという現実があり、書店を誘致することの難しさは承知しています。）  
・保育園や小学校で、一人一冊おすすめの本をみんなの前で紹介する機会を作る。  
・今回のアンケートではもっとさせられました。自身の国語力が付いたのは本からでした。子供が字は読めないけど、自分の言葉で絵を見  
ながら親に読んでくれることがあります。なるべく読んであげようと思いました。  
・保育園で毎日の読み聞かせや紙芝居があるといいです。  
本棚もたてて収納するより、手に取って見たくなるように表紙を見せて置けるようディスプレイすると思います。  
・本に触れる機会を教育現場で増やし興味をもたせる。  
・保育園でも毎日、短い時間(10分くらい)でいいので自分で本を読む時間を作って欲しい。  
そうするとそれが習慣になると思う。年齢に合わせた本を図書館から借りて各クラスに置いて月一回入れ換えるなどは、どうでしょう  
か？  
・寝る前、食事後、など本の時間をきめる。  
本を読まなくても、絵をみながら楽しい会話をする、コミュニケーションになり、記憶になる。  
・今はタブレットや携帯ですぐ調べられたり  
考えたり辞書を引くということも少なくなったと思う。インターネットやSNSを通じて良いことばかりではなく誤った情報やいじめなどにも  
繋がっているのが現状かなと…  
これからの時代はそれが当たり前で主流なんだろうけど知らない人といつ繋がっているかもわからない世の中で本を読んだり字を書くこ  
とが少なくなると子供の成長にとって色々な問題があるのではないかと思っているところです。  
昔はわからない事があると辞書で調べたり、学校の本も沢山読みました！  
学校や保育園に本や紙芝居を読みに来てくれる人がいたり、生徒自身が本の内容を覚えて発表する場もあり、夏休みや冬休みでは読書感  
想文を書くというのは絶対でした。  
タブレットやタッチペンより鉛筆で書く事が断然多かったです。この時代になり防犯的にも助かる部分も沢山増えましたが、本を読むこ  
とができる集中力が感情の豊かさはYouTubeやオンラインゲームばかりしてる子供とは違うと思います。  
将来の子供たちのためにもっと力を入れて欲しいです！  
・親や上の子が本を読んでいるのを見ているからなのか、文字が読めなくても読んでもらったことのある絵本や好きなヒーローの図鑑な  
どを一人で集中して見ている事があります。特に仮面ライダーやウルトラマンなどの本が好きなので、LOOPの図書室にも増える  
と、子どもが喜ぶのではないかと思います。  
・図書館は静かにしてあたりまえ、という固定概念が強くなり、まだ活発な時期の子供を連れて行くと周りに迷惑になるかなと  
どうしても躊躇してしまいます。そのような部分が改善できればより利用しやすいかもしれません。  
・もう少し本を読む時間を作りたいが、親の時間的な問題もあり出来ない事が多く申し訳ない。  
・今はスマホやタブレット等の動画視聴が多いので読書に対して積極的に紙媒体ではなくとも電子での読書推進が進むのではないかと思  
う  
・LOOPでもまた本を借りにいきたいと思う  
・小さい子どもでも気軽にいけるようになるとうれしいです。Loopのみあその図書館は静かな感じなので。  
・なかなか家で時間がなくてLOOPで読み聞かせをもらい、助かります  
・定期的に色々なジャンルの本の紹介のおたよりみたいなのがあると、子供たちもそれぞれになにか興味がわく本に出会えるんじゃない  
かなと思います。図書室の本にもロコミや読みたくなるような見出しみたいなのが付いていると手に取ったり読みたくなる気がします。  
・ある程度の情報はネット、テレビ等他の媒体で事足りる社会となっているため、ある程度読書の時間を作るしかないように思います。  
読書を習慣とするためには、やはり小さい頃から読み聞かせを行う必要があったと反省してます。

# 小学生 集計表

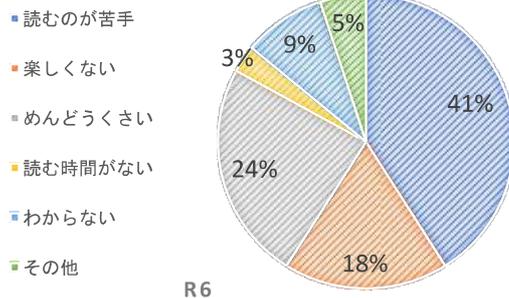
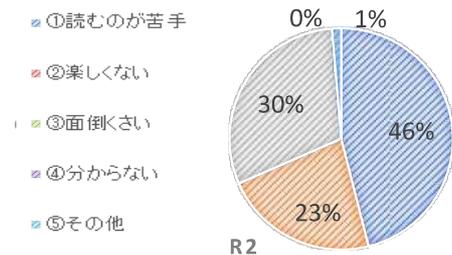
あなたは、本を読むことが好きですか。

小学生全体



学年	1年				2年				3年				4年				5年				6年			
	R6	R2	H27	H22																				
①好き	47%	74%	66%	54%	36%	57%	53%	72%	35%	41%	46%	68%	44%	48%	49%	62%	42%	40%	42%	67%	34%	44%	43%	45%
②どちらかといえば好き	44%	18%	26%	32%	41%	26%	36%	25%	50%	37%	40%	28%	39%	30%	37%	26%	43%	41%	38%	28%	43%	34%	48%	39%
③どちらかといえばきらい	9%	5%	8%	6%	18%	9%	9%	1%	9%	14%	8%	3%	15%	14%	10%	11%	13%	14%	18%	4%	18%	14%	7%	14%
④きらい	0%	3%	0%	7%	5%	9%	3%	2%	6%	8%	6%	1%	2%	7%	4%	1%	2%	4%	3%	1%	5%	8%	2%	2%

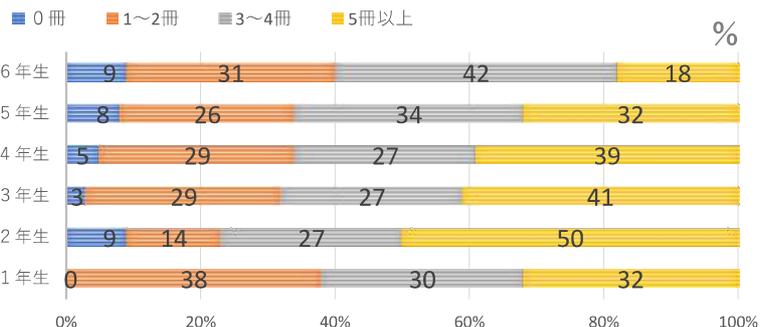
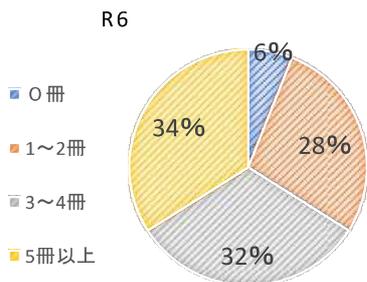
「どちらかといえばきらい」「きらい」と答えた人は、どうしてですか。



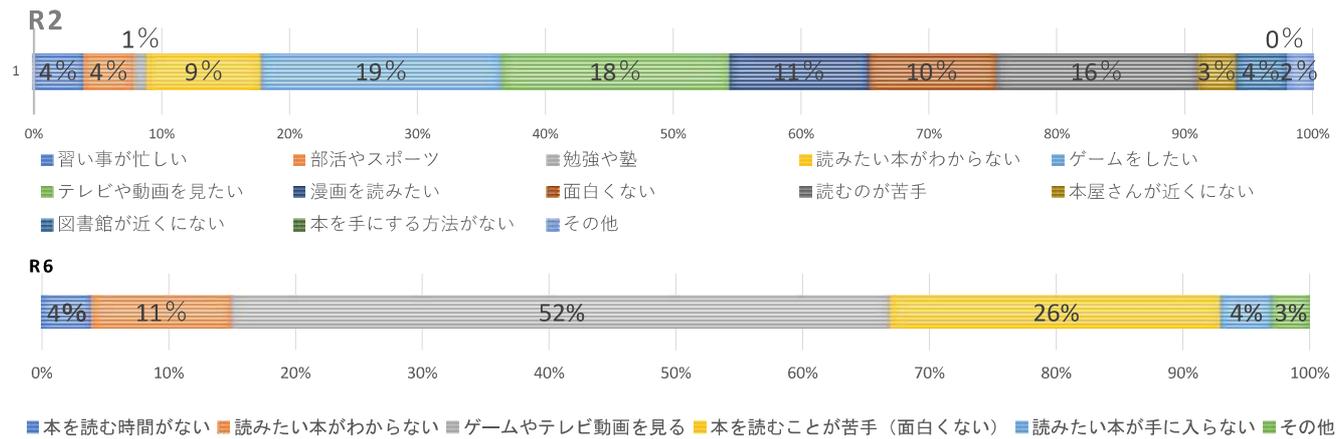
その他の意見 ・読んでもなんの意味がないから ・面白くない  
・好きな本が少ない ・読みたい本がない

あなたは、1か月に何冊くらい本を読みますか。

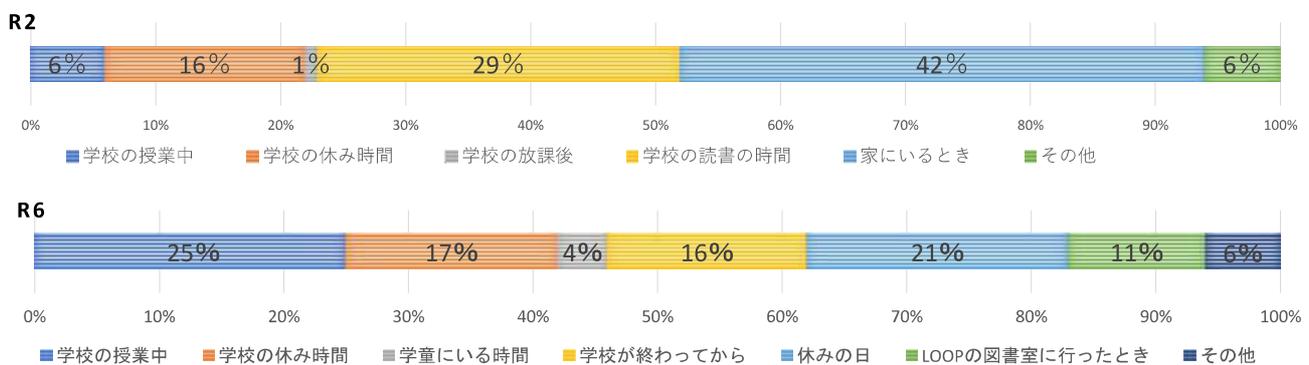
学年	1年				2年				3年				4年				5年				6年			
	R6	R2	H27	H22																				
①0冊	0%	0%	4%	6%	9%	7%	3%	0%	3%	10%	2%	6%	5%	12%	9%	0%	8%	13%	7%	0%	9%	12%	9%	1%
②1～2冊	38%	12%	19%	23%	14%	30%	33%	13%	29%	38%	28%	11%	29%	28%	41%	19%	26%	35%	33%	21%	31%	29%	39%	26%
③3～4冊	30%	18%	30%	21%	27%	29%	24%	37%	27%	18%	17%	18%	27%	33%	19%	30%	34%	19%	32%	30%	42%	18%	26%	33%
④5冊以上	32%	70%	47%	50%	50%	33%	41%	50%	41%	34%	54%	65%	39%	28%	32%	51%	32%	33%	29%	49%	18%	41%	27%	40%



0冊と答えた人はなぜですか。

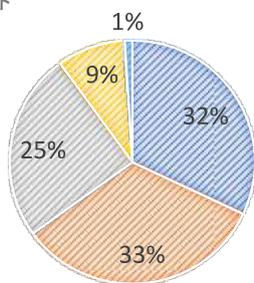


あなたはいつ本を読んでいますか。読む時間が多いと思う時間 (3つを選択)



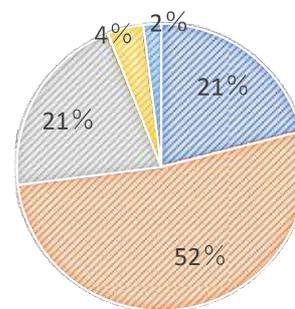
あなたが、一日に本を読む時間はどれくらいですか。

R2 平日アンケート

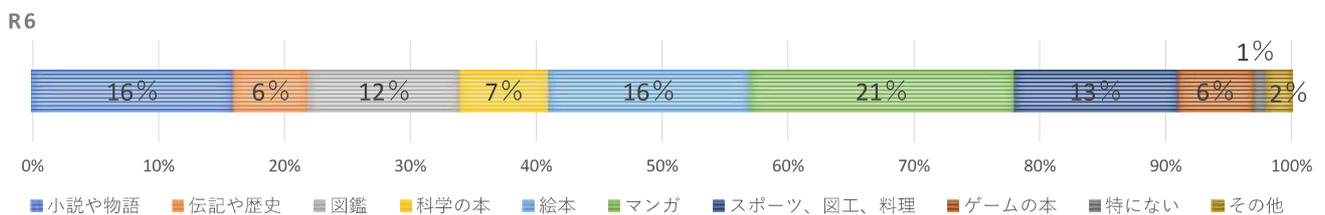


R6

- ほとんど読まない
- 30分以内
- 30分から1時間
- 1時間から2時間
- 2時間以上



あなたは、どんな本が好きですか。



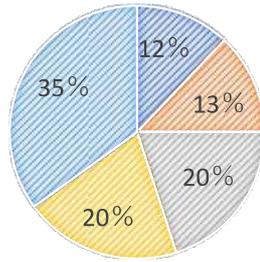
その他の意見 ・ なぞなぞ  
 ・ めいろ  
 ・ 花ことば

・ 妖怪、おばけ、こわい話  
 ・ 恋愛  
 ・ 職業について

・ 機械  
 ・ 動物の本  
 ・ サバイバル

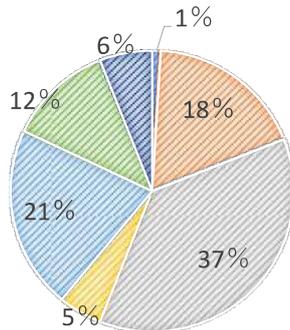
あなたは、LOOPの図書室にどれくらいの回数行くことがありますか。

- 月2回以上
- 月1回くらい
- 2～3か月に1回
- 年に1～2回
- 行くことがない



LOOPの図書室に、行く機会があまりないと思う人は、その理由は何ですか？

- LOOPの図書室を知らない
- LOOPの図書室が遠い
- 行く時間がない
- 行きたくても交通手段がない
- 行こうと思わない
- 本は買うことが多い
- その他

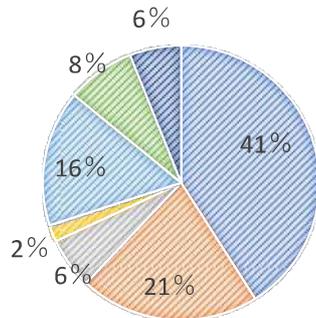


**その他の意見**

- ・お父さんが借りている本を貸し借りするときに本を読む
- ・友だちのつごうに合わせてる。
- ・行っても借りれない
- ・チャレンジのまなびライブラリーで読むから
- ・学童の決まりがある、雨の日で体育館使用不可な時だけ
- ・学校で借りれるため現在は間に合っている
- ・読みたい本がない
- ・学校の図書室の本でいいから
- ・学校で借りるので行く必要がない
- ・読みたい本がない
- ・親の都合が合わない・1人で行けない
- ・カードがないから
- ・学校によみたいのがいっぱいあるからいなくてもいい。
- ・親の都合で行けない・行く必要がない
- ・LOOPのカードがないから
- ・家にある本で済ましちゃうことがある。
- ・図書カードをなくした

休みの日や、学校が終わってからの過ごし方で、時間を多く使っていると思うこと（2つ選択）

- テレビや動画やゲーム
- 宿題、学習
- 本を読む
- 家の手伝い
- 塾やクラブなどの習い事
- 友だちと遊ぶ
- その他

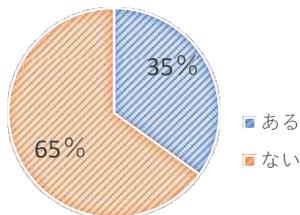


**その他の意見**

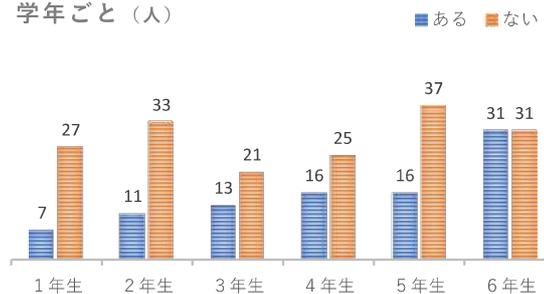
- ・絵を書く
- ・おもちゃで遊ぶ
- ・工作
- ・外遊び
- ・学童保育、放課後デイサービス利用、療育施設
- ・ハンドメイド
- ・家族とあそぶ、姉妹で遊ぶ
- ・寝る
- ・家で遊ぶ、トレーディングカードゲーム

パソコンやスマートフォン、タブレットで本を読んだことがありますか。

小学生全体



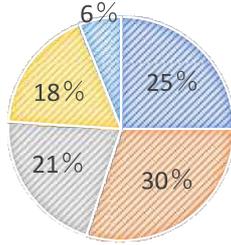
学年ごと（人）



「ある」と答えた人は、何を使って読んだことがありますか。

小学生全体

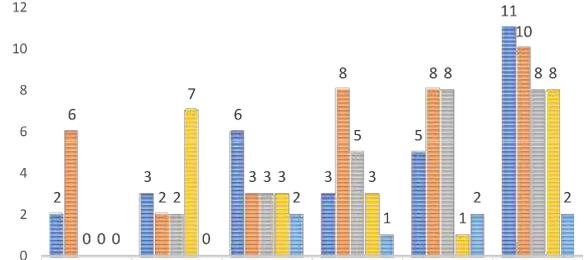
- 学校のタブレット
- 自宅のタブレット
- 自分のスマートフォン
- 家族のスマートフォン
- その他



その他の意見

- ・学習用タブレット、通信教材のタブレット
- ・LOOPのタブレット

学年ごと（人）



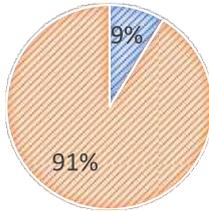
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
学校のタブレット	2	3	6	3	5	11
自宅のタブレット	6	2	3	8	8	10
自分のスマートフォン	0	2	3	5	8	8
家族のスマートフォン	0	7	3	3	1	8
その他	0	0	2	1	2	2

南阿蘇村電子図書館を知っていますか。また利用したことがありますか。

R2アンケート 電子書籍を利用していますか？

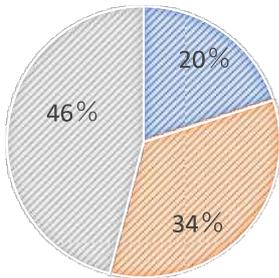
小学生全体

- ①している
- ②していない

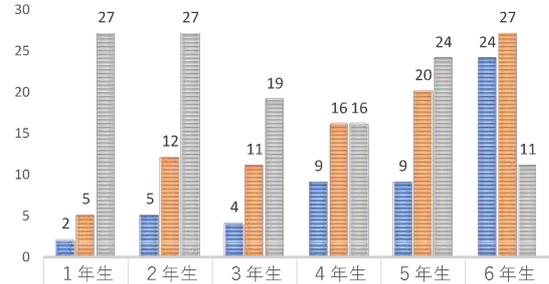


小学校全体 R6

- 利用している
- 知っているが利用したことはない
- 知らない



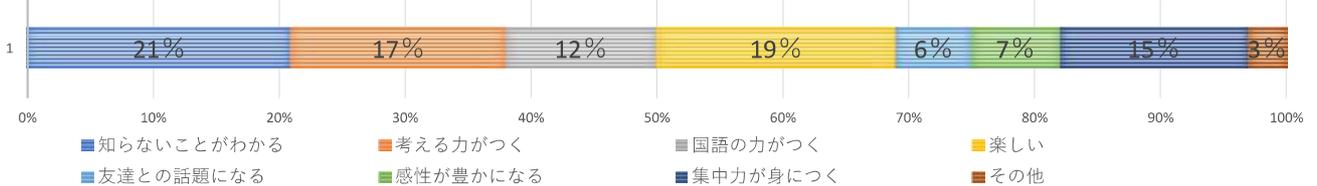
学年ごと（人） R6



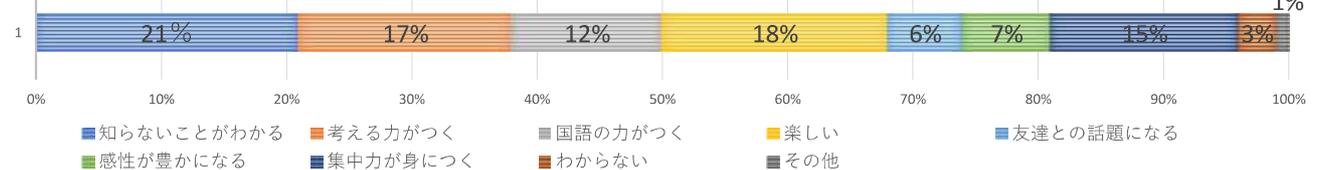
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
利用している	2	5	4	9	9	24
知っているが利用したことはない	5	12	11	16	20	27
知らない	27	27	19	16	24	11

本を読むことの良さや大切さは何だと思いますか。（複数回答）

R2



R6



本や図書室について思うことを自由に書いてください。

- ・ぼくはあまり行ったことがないけど、図書室の本はいいこわたりやすい本だと思います。
- ・好きな本やおもしろかった本は、何回か読みたくなります。
- ・ゲームがなくなったら本を読むと思います。
- ・わたしは、本が心にすみつき大きくなりました。
- ・本を読んだら分からないことが分かりワクワクするから、自分の好きな本から始めると段々好きになって、他の分野の本も読みたくなり、どんどん本が好きになると思う。
- ・図鑑がたくさんあっていい。ゆったり座れる幅の広くて長いソファのような椅子が欲しい。
- ・どうやったら本がすきになれるかという、物語の本をたくさん読むこと。
- ・図書室でもっと本を読める時間を増やしてほしい。
- ・本を読むとその本の世界に入れたような気がする。
- ・本コーナーをわかりやすくしてほしい。
- ・鉱石の図鑑を増やしてほしい。
- ・図書室では面白い話の本が読めると思います。たくさん本が読めるからありがたいです。
- ・まずは読むのが苦手な人に絵本をすすめていたら本が好きになると思います。
- ・図書室は面白い本や楽しい本、勉強になる本などがあり見たい本はないけど面白そうだな〜となるときがあり、ついつい借りてしまうのですごいなと思いました。おすすめの本や新しく入ってきた本がわかりやすいところがあるので見つけやすく助かっています。
- ・小説だったら上手で綺麗な挿絵が沢山のっているものが好きです。人のキャラクターが出てくる小説などは、こういう人なんだというの分かるし、絵を見るのも楽しいから挿絵が無いものよりあるものの方が良いです。中学生や高校生などのキャラクターが出てくる小説が好きです。
- ・アニメの本をおいてほしい。
- ・ゆっくり図書室に行ける時間がない。
- ・鉄道の本を増やしてほしい。
- ・怖い小説が少ない。
- ・図書館をかわいくしたり、クッションをおいたり、休むところを広くしたりなどしたらいいかなと思います。
- ・本は国語の力がつくのがいい。
- ・図書室に行くといつもおもしろい本がたくさんあります。
- ・ストーリー系は、次が気になって読むことがある。
- ・本を読むと、文章を読み解く力がついて、大人への一歩となると思いました。
- ・紙芝居を見たい。
- ・図書室は自由に本を選んで、気になったらちょっと読めたりすることができるといい。
- ・図書室の本はどこから仕入れをしているのか？
- ・図書室に釣りの本がほしい。
- ・歩いて行ける所に本屋さんをつくる。うちどくをやめる。
- ・学校の図書室の新しい本コーナーの所をその歳で読まなくちゃいけない本コーナーにする（モモ、ホッツェンプロッツとか）。
- ・私は本を読むことはどちらかというと苦手だけど、夜寝る前に15分間読書の時間を作っています。本にはどんどん物語にすいこまれるようなおもしろさがあるので、少しでも読書の時間を作ると、集中で楽しいと思えるようになると思ったので、本が好きになると思えます。
- ・みんなが、わからないことなどがわかったりできる。
- ・学校で教えないような深い歴史の本。
- ・ループの方に、本のリクエストができるのが良い。
- ・宇宙など実際は行けないことも、本を読めばわかるので、わたしは本が好きです。
- ・本がタブレットで見れるとみやすい。
- ・動画だとみやすい。
- ・図書室は、見たいマンガや絵本がたくさんあるから、うれしいです。もっと本がふえたらうれしいです。
- ・新札の顔になり北里さんをもっと知りたいと思った時、図書室にいろんな本があったから嬉しかった。場所を教えてもらって嬉しかった。
- ・僕が見てみたい本は、雑木林 昆虫図鑑です。理由は、南阿蘇村電子図書館のチラシを、見たときに、表紙のミヤマクワガタが、かっこよかったからです。
- ・歴史がたくさん書いてる本が読みたい。
- ・新しいサバイバルの本を増やして欲しい。あと おすすめの本を教えてください。
- ・図鑑がわかりやすく勉強になるから、漫画もおもしろい、一年生用などがあるから。
- ・バスケットボールの本を読んで、ルールなどがわかりました。
- ・本を読んだりして図書室に行くと、静かでおちついて本が読める。
- ・もっと細かく分けてほしい
- ・図書室でたくさん本を読みたいです。
- ・しらないことがわかる。
- ・おもしろい本などを教えてあげる。
- ・おすすめの本などをたくさん紹介してほしい。
- ・好きな本がサッカーの本なので、サッカーの本を増やしてほしい。
- ・もっと知らないおもしろい本をたくさんよんでみたい！！知らないいろんなマンガも読んでみたい。
- ・本は面白くない。
- ・僕は、生き物が好きだからもっといろいろな図鑑を読んでみたい。
- ・習い事の本を読むことで上手になれるからいろいろなことが知れる。
- ・私は本を読むことはたくさんありますが、ほとんどが漫画なんです。だからどうすれば、小説などをたくさん読めるようになりますか。参考になる意見を教えてください嬉しいです。
- ・これからは、図書室などに行ってもっと本を読みたいと思います。
- ・漫画でもいいから本を読むことが大事。
- ・本を読むことによって、話の話題が増える。それによって、本に興味を持つ人が増えると思う。
- ・とても面白い本が多い。
- ・行ってみたいなーと思った。
- ・本を読むことで集中力がつくと思うのでこれから本をたくさん読みたい。
- ・図書室とカループは、たくさん本があって面白いと思います。これからも利用したいです。
- ・もう少し静かに過ごしてほしい。
- ・図書室が好き。
- ・図書室には、いろいろなひみつの本があって僕はそのひみつシリーズがとても好きです。

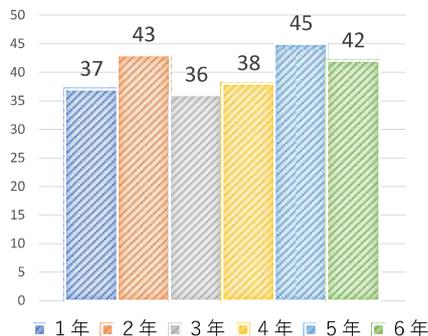
# 小学生保護者 集計表

お子さんが通う小学校はどこですか。お子さんは何年生ですか。

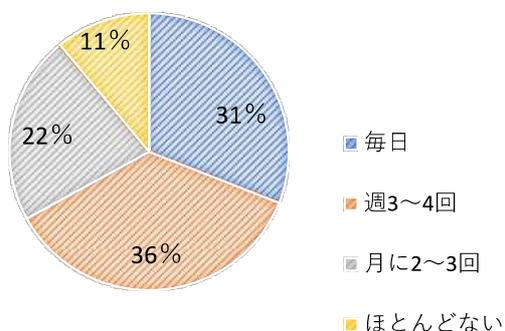
保護者回答数（人）



お子さんの学年別（人）

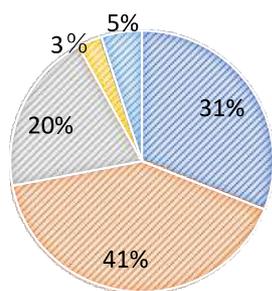


あなた（もしくは家族）は、お子さんが小さい頃、どれくらいの回数、本を読んであげていましたか（いますか）。

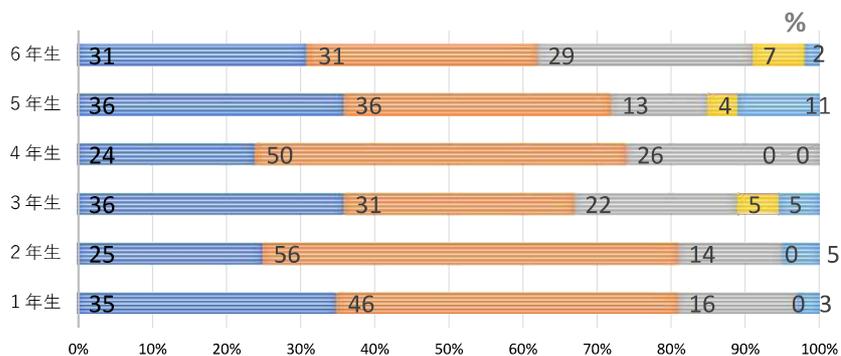


お子さんは本を読むことが好きですか。

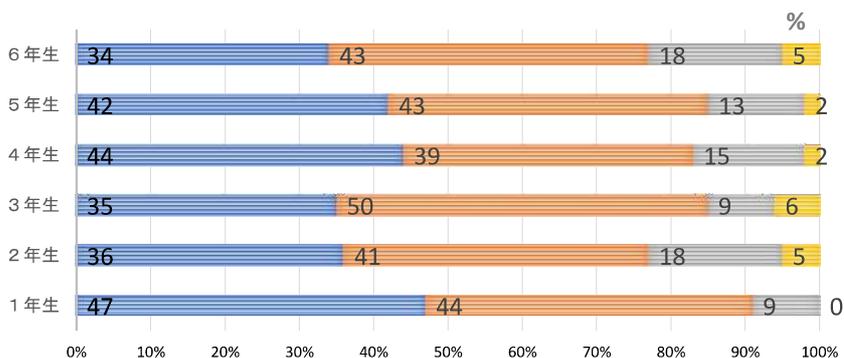
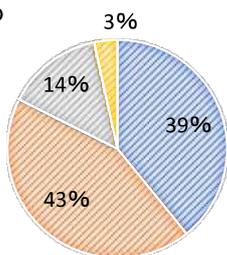
保護者



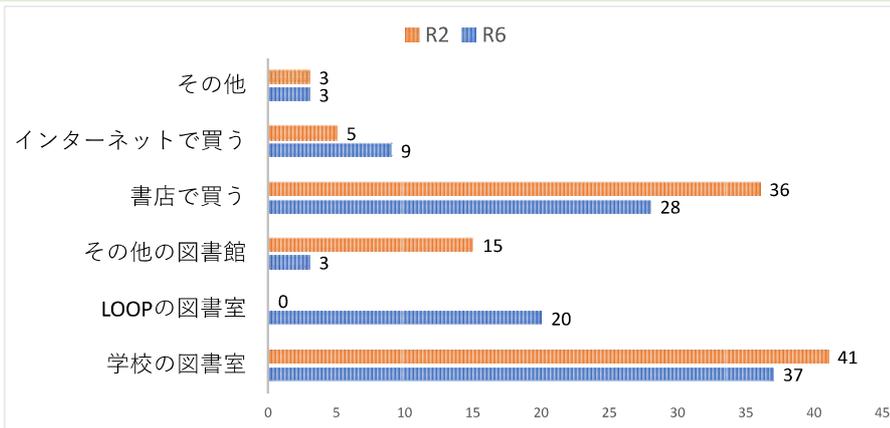
■好き ■どちらかといえば好き ■どちらかといえば嫌い ■きらい ■わからない



小学生の回答



お子さんが家で読む本は、主にどのようにして手に入れていますか。（複数回答）



	R6	R2	H27
学校図書室	37%	41%	43%
LOOP（村）の図書室	20%	0%	1%
その他の図書室	3%	15%	22%
書店で買う	28%	36%	31%
インターネットで買う	9%	5%	3%
その他	3%	3%	1%

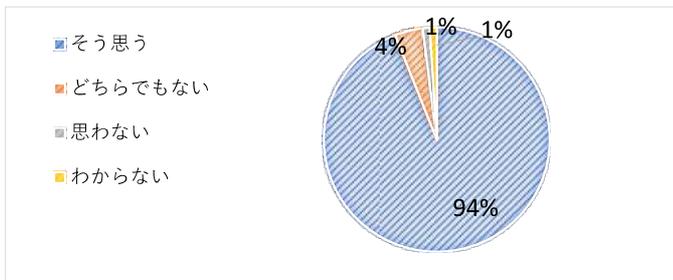
その他の図書室

- 大津図書館9人
- 阿蘇図書館1人
- 県立図書館1人
- 菊陽町図書館1人
- くまもと森都心プラザ1人

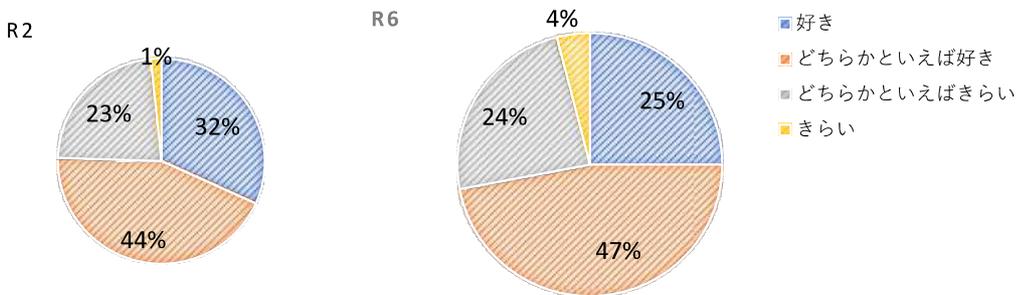
その他の意見

- 頂いた本
- 古本を買う
- 定期購読の本
- 学校の注文で購入
- 家にある本
- 絵本アプリ
- 姉のおさがり
- 母親が子供の頃に読んでいた本
- 児童

読書はお子さんにとって大切だと思いますか。

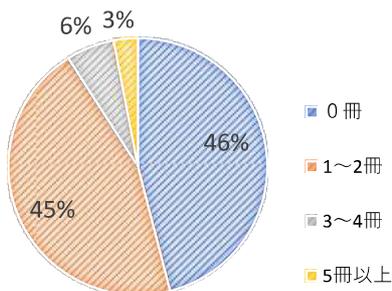


あなた自身は、読書は好きですか。

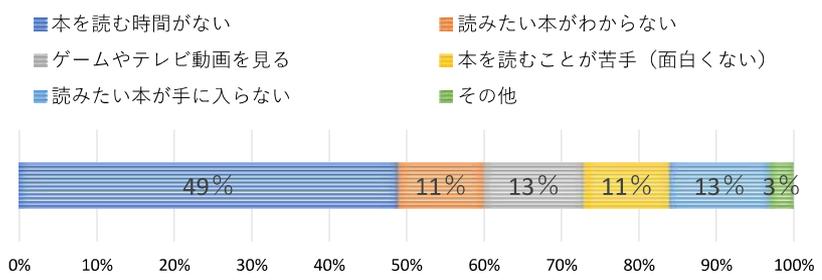


あなた自身は、1か月に何冊くらい本を読みますか。また「0冊」と答えた人はその主な理由は何ですか（複数回答）

何冊くらい本を読みますか



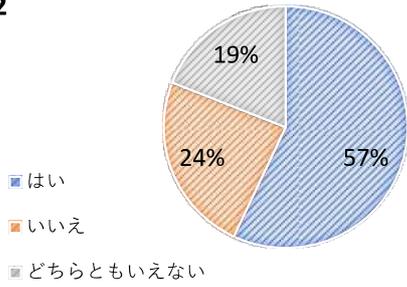
0冊と答えた人はその主な理由



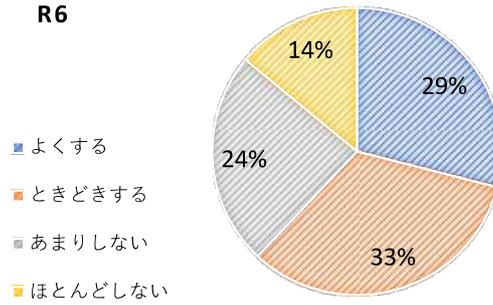
- その他の意見
- 読む時と読まない時の波がある。忙しいと読めない。
  - 数カ月に1冊ほど
  - デジタルで読む
  - 老眼になって

お子さんは、家で読書をしますか。

R2

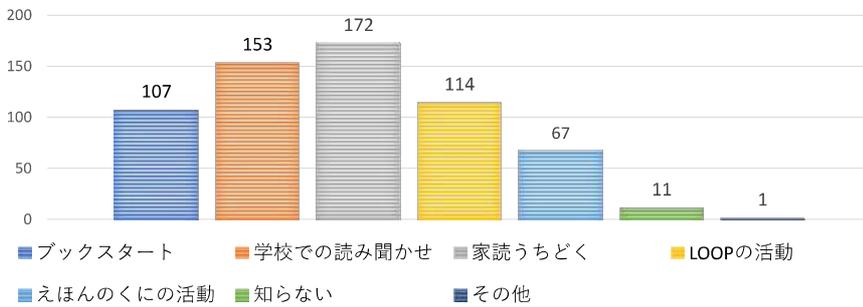


R6



本村内で行われている「子どもの読書活動推進」につながる以下の活動で、あなたが知っているものはありますか。（複数回答）

小学生保護者 複数回答（人）

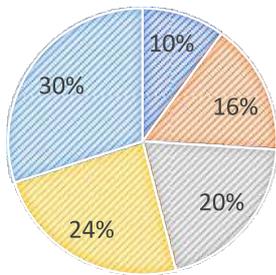


その他の意見

- ・他の図書館の活動

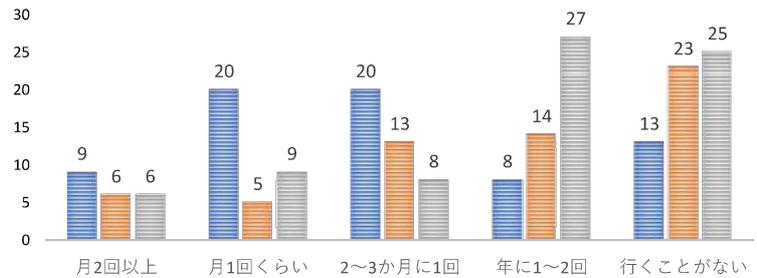
あなた自身は、LOOPの図書室にどれくらいの回数行くことがありますか。

- 月2回以上
- 月1回くらい
- 2~3か月に1回
- 年に1~2回
- 行くことがない



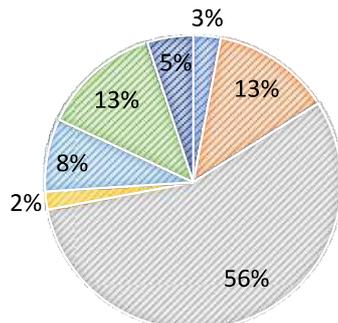
校区ごとの人数

- 久木野
- 南西
- 白水



LOOPの図書室に行く機会があまりないと思う人はその理由はなんですか？（複数回答）

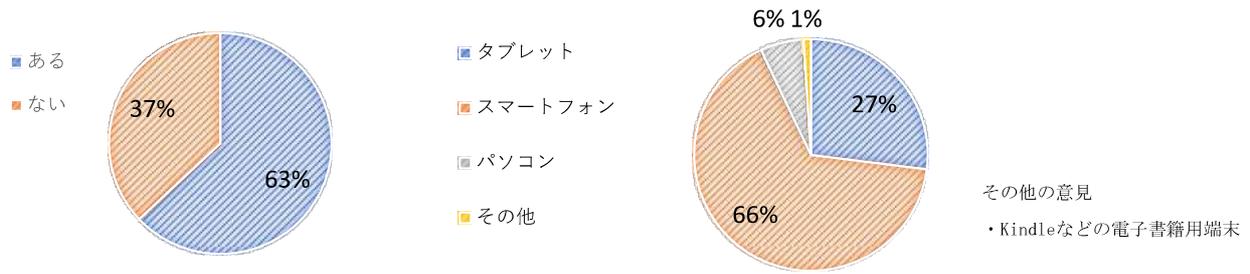
- LOOPの図書室を知らない
- LOOPの図書室が遠い
- 行く時間がない
- 行きたくても交通手段がない
- 行こうと思わない
- 本は買うことが多い
- その他



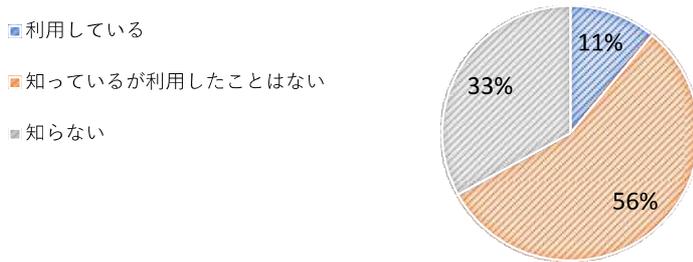
その他の意見

- ・本の数が少ない、本の種類が少ない
- ・阿蘇、大津図書館の方が近い
- ・職場が近いから利用したいが夕方閉まってしまうから時間が合わない
- ・ゆっくりした時間に行きたいと思うので、足が遠くなる。
- ・引っ越してきたばかりでまだ行ってない
- ・見る本がない
- ・子供の為に行くだけなので
- ・好みの本がないため、好みの本がなかったため

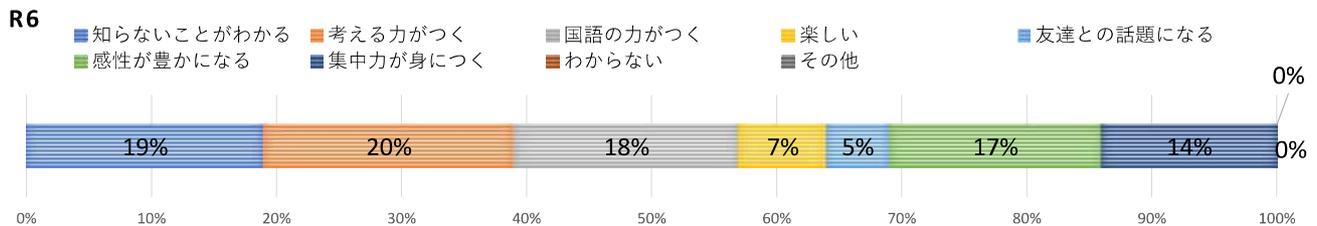
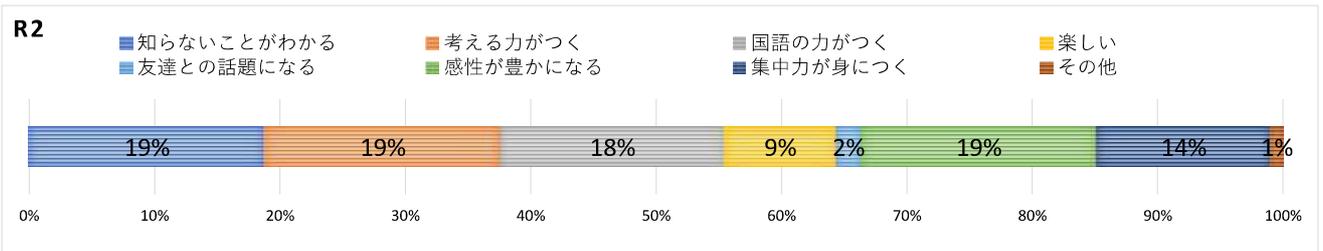
パソコンやスマートフォン、タブレットで本を読んだことがありますか。「ある」と答えた人は何を使って読んだことがありますか。



南阿蘇村電子図書館を知っていますか。また利用したことがありますか。



本を読むことの良さや大切さは何だと思えますか。



子どもの読書活動推進に関して、保護者の意見を自由にお聞かせください。

(参考: どうすれば子どもが読書に親しむようになると思いますか? また、子どもたちの自律的主体的読書活動のために課題となるものは何でしょうか? など お聞かせください。)

- ・図書室の本の種類がまだまだ少ないと思います。
- ・好きな本やおもしろかった本は、何回か読みたくなります。
- ・毎日ゲームの時間は決めて、それ以外の時は本を読んだり、自分で好きなことができるようにしている。子どもが欲しいと言った時には、できるだけ本を購入し、好きな時に読めるようにしている。村内に本屋さんを作してほしい。
- ・親が子どもに読書のおもしろさを教えてあげる。家に本を並べる。マンガから読む。
- ・私もどうすればいいのかわかりません。仕事が忙しく夜も時間がなく本を読んだりする余裕ありません。私も教えてほしいです。
- ・自宅に絵本などがたくさんあれば、自然と手に取り、読めなくても気になって見だすのでは? そこで興味などわいて読む調べる…が始まっていく気がします。
- ・主体的な活動を妨げる一番の原因はSNSの普及だと思えます。
- ・子どもの興味があるもの、好きなものなどがあれば本を通してその事にもっと深く知る事ができる。学校の授業で図書館、図書室に行つて本を読むというのを行つたらいいと思う。(久木野小はあります)
- ・テレビやYouTubeなどよりも、本を見たり読んでほしいけど、なかなかうまくできません。
- ・えほんのくのにイベントは、個人的には興味があり子どもも好きなのですが、告知をしている割には参加者が少ないと感じています。子どもがもっと興味を持つような内容は何か? と考えてみます。
- ・子どもは親の姿を見て育つように感じているので、一緒に読書をする時間を作る、親が読書をしている姿を積極的に見せることが大切だと思う。
- ・わが家では、ねる前の読み聞かせを1歳ごろから今までほぼ毎日行っています。ただ、話を聞くのは大好きですが、動画などの方がやはり好きなので。習い事なども多いため「読書」の時間がとれずにいる面もあります。
- ・教室内で読書冊数の表(読んだ数シールをはるなど)を貼るのは1つの方法かとは思いますが、できればより自主的に本を手にとってほしいですね。子どもたちそれぞれに「推し本」をプレゼンしてもらい機会なども作れたらすてきです。
- ・私自身が読書が苦手なので、子どもには本に小さい時から親しんでもらいたいと思い、生まれた時から読み聞かせをしていた。子どもは今では自ら本を手に取り、静かに読んでいる時間が多くなり、大変嬉しく思う。小学校では読み聞かせも始まったようで、とてもありがたいです。
- ・宿題で音読をしています。音読をすればするほど読む事が上手になっている事を感じるのと、とても良いことだと思います。
- ・親の日常生活に時間的な余裕がない。親がゆっくり本を楽しんでいる姿を見れば、自然と子どもも本が好きになると思う。
- ・LOOPみなみあそに小学校低学年～高学年の児童書を増やしていただきたいです。わが家ではたくさん本を読みますが、LOOPは絵本はたくさんありますが、児童書が少なく大津図書館まで最近通っています。図書館の本の充実は、子どもの自律的な読書にもつながっていると思います。
- ・ゲームやアニメ等が好きなお子さんには、ライトノベル等で読書への入口を広くしておくといいのかもしれない。
- ・身近なところに本があること(生まれた時～) 絵やインパクトにひかれるので…いろんなところ(図書室)に行くこと。
- ・家族で読書の時間をつくるなどして、本に慣れ親しむ活動ができたらと思います。
- ・家の近くに図書室でもあれば、休みの日には連れて行くと思うけど今は遠いので行けません。
- ・今、一番読書で身近なのは学校の図書室です。新しい本の情報は子どもは知っていて、自分のペースで好きな本を借りているようです。LOOPまで足を運ぶ事はほとんどないので、学校とは違う規模の図書館を見てみる事は親子で必要なと改めて思います。
- ・南阿蘇では学校や他の施設など、よく取り組んでおられると思います。
- ・本の中の世界観を楽しんでもらう。本に書いてある実際の場所を見ることで、よりイメージ力が高まると思う。
- ・子どもが読みたい本のリクエストを取って図書館に置く。古くなった本は、沢山本を読むと持ち帰れるようにして、回していく。
- ・私(母親)自身が子供の頃はあまり本を読みませんでした。子どもが本に親しむためにはそのように経験の少ない親や子ども本人に任せていても難しく、周りの本が好きで大人が読み聞かせたり面白い本を紹介したり本を読むとこんな楽しいことがあると常に伝えることが効果的だと思います。
- ・本のおもしろさとお会。学校で読書の時間をつくる。読書スペースの工夫。
- ・週に一度の図書館の日はありがたい。クラスで好きな本を発表する機会があるといいのではないかと思います。
- ・子どもだけでループに行つて本に親しめれば良いと思う。遠くて送迎は難しく行く機会がない。
- ・一年生は週に一回本を借りて帰るから一緒に家でも読んであげているので、今後も学校から借りて家に持ち帰ると良いと思います。
- ・ゆったりとした時間が何より大事だと思う。今の小学生は習い事、宿題など親もバタバタとしている。家族でそれぞれに好きな本を読む時間を一緒に過ごせたら素敵だと思う。
- ・子供は漫画的なものが好きだと思うので読書に魅力を感じるきっかけ作りが大事だと思います。字だらけだと読む前から興味はわかないと感じます。
- ・興味のある本をどんどん読ませる。
- ・図書カードをもらう機会があるので、本屋に行って興味の出たものを自分で購入して大切に読むことを感じてもらう。(親が選んで買っても興味が出ないと思うので)
- ・色んな本の紹介、イベントなどがあると良いと思う。
- ・学校図書の内容が、漫画が中心になっていて子どもが漫画ばかり読むようになり、なかなか小説へ興味を持ってくれない。漫画を否定するわけではないが、家読のときや、読書感想文については、漫画以外とするなど漫画ばかりにならないような配慮を学校側で欲しい。
- ・スマホやゲームに費やす時間が増え、簡単にストーリーがみられるようになったこと、まずは手にとってみるのも大切だが、初見で読んでみたい、楽しそうだと思うのかなど、ワクワクする感覚があると読書に親しみがでるのではないかなと思う。
- ・うちどくの廃止(感想を書く時間のため、かえって本を読む時間が確保できない) 学校での読書の時間の確保、書店の開設。
- ・書店がなく、興味のある本が身近で買えない。子供同士でお薦めの本の紹介をする機会を作る。
- ・自主的に読むというより、読んでほしい本を借りてきて親に読み聞かせをお願いしてきます。その時は必ずそうしますし、好きな本のジャンルも同じなので、この本はママが好きそうだから一緒に読もうという感覚で借りてきている気がします。
- ・うち読の日には本は持って帰りますが、一人で読む時には最後まで集中して読んではいないようです。もちろん、私が読んでいる時は最後までお話は聞いていますが、一人でも集中して最後まで楽しんで読んでほしいので、学校でも図書館で本を借りて読む機会が出来たらなあと思います。
- ・子どもが興味をもつ内容、表紙でまずは関心を持つと、あとは本人が読むようになると思う。子どもが小さいうちは、親が頑張つて読み聞かせを行う。
- ・南阿蘇村では、子どもの読書の取り組みはしっかりされていると思います。読書好きの人は、いろんな事を知っていて、本はいろんな知識として入っていくので、子どもにもそうなってほしいと思いますが、私自身が好きでなくマンガばかり読んでいました。子どもも同じで困っています。親子で本を意識してみようかと改めて思いました。LOOPに足を運ぼうと思います。
- ・特に思いつきませんが、うちではテレビがないので(そのことでいいこともよくないこともあります) 読書習慣を身につける上では良かったのかなあと思います。
- ・図書室で本を借りても、持って帰って来ないのでどういった本を読んでいるのか分からない。ループを利用して本を借りたが、読む時間が取れず、読まずに返却してしまうこともある。また借りに行く時間がなかなか取れない。

・幼児期から小学校低学年までは、「本を読む習慣」というものを身につけることが先決ではないかと思っています。そのため、絵本をはじめ、図鑑やマンガ、なぞなぞの本など興味を持ったものなら何でも良いので、本に触れる時間の確保を大切にしたいと思っています。（現実にはなかなか村の図書館に連れて行く時間の確保はできていません…）学校で行われている「家読」の活動も魅力的で、読書における習慣は主体的な読書活動を生むきっかけになると感謝しています。また、可能な限り、欲しいと言った本は興味を持った時に与えるようにしています。

・小さい頃は大人が読んであげることが大事だとわかっていますが、なかなか時間が取れないのが現状です。最近図書館を利用する機会が増えて、子どもも本に興味を持ってるので良いことだと思います。

・学校の学習でループに行き自分の興味のある本を選んできた。みんなで行ったこともよかったのか、学校から定期的に連れて行って利用してほしい。

・私も読み聞かせボランティア活動に参加しております。子供たちは熱心に耳を傾けてくれるので、やりがいや喜びを感じます。感性が豊かになることや、想像力を育むことは、社会生活の上で役に立つと思います。ただ、多様化した子供たちの生活の中で、読書の時間がなかなか取れないのも現状です。

・子供たちがそれぞれ面白い！楽しい！と思った自分のお気に入りの1冊を紹介するような機会があるといいなと思います。紹介するためには1冊以上は本を読んで自分のお気に入りを探し、友達が紹介してくれた本も興味が湧いて読みたくなったり、友達の間で話題にしたり、本に親しむ機会が増えると思います。大人が選ぶ本ではなくて、子供たちが面白いと思う本に出会うことでより読書が身近になるんじゃないかなと思いました。

・私の小学校時代は読書タイムという時間が毎日ありました。給食、昼休み、掃除、そのあとに15分前後くらいの読書の時間があり、みんな静かに自分の机で読んでいました。事前に休み時間等に自分が読みたい本を借りておいて、読書タイムの時間になったらみんな集中して読めるという感じです。

・わたしは読書が大好きなので子供にもたくさん本を読んで欲しいと思っていますが、子供が選ぶのは虫や恐竜の図鑑がほとんどです。集中して読む。と言うことが早く出来るようになるといいな。と思っています。

・読書の良さをわかりやすく伝え、以前もあったと思いますがノーゲーム、ノーテレビデー（動画なども）をもうけ、読書をする時間をもうける。

・年齢に合わせた推奨図書の紹介

・本を選ぶと言うことは、色々な知識の扉を実際に手に取る、選ぶと言う意味があり世界を広げることだと思っている。

・インターネットは自分の興味から検索するため、知識を深めるための手段だと思う。

南阿蘇LOOPの電子図書館はかなり大きなシステムを契約していることは知っているが、これはあくまで大人に対して良い選択であると言う一方で、これから興味、知識の幅を広げて行く子どもにとっては使いづらい。実際の本を手に取り、こんな世界もあるんだと子ども自身が気付いていくのが図書館の良さであるため、電子図書館より実際の蔵書を増やす方向に進んでもらいたいと思う。

・親が読書をしている姿をみせる。漫画本からも幅広い知識を得ていると思うので、最初は漫画本でもよいからよむ。（サバイバルやドラえもん科学、漫画の論語など）ビブリオバトルなどのイベントもやると良いと思う。

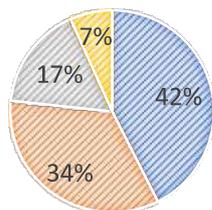
・子どもたちは、寝床に本を持って行って眠くなるまで読んでいます。読んでいるのは科学マンガや歴史マンガなど、気軽に読めるものが多いです。たまに幼年文学の本も何冊か借りておいて、手の届くところに置いておくと勝手に読んでいます。図書室が保育園など、送り迎えの通り道にあるのがとても良いです。気軽に読めるものを、気軽に借りられることで本と触れ合う時間が確保されているなと感じています。

・子どもが小さい頃は、寝る前に絵本の読み聞かせをしていたが、年齢に上がるにつれてなくなってしまった。読書というと、小学生も高学年になれば、文章ばかりの本を読んで欲しい、という親としての思いもある。絵本から長い文章を読むことにどうやってシフトさせていけば良いのか、家庭での取り組みの仕方などあれば教えて欲しい。

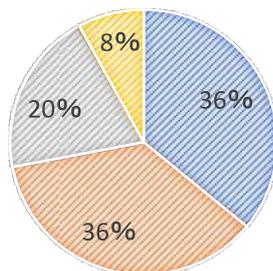
# 中学生 集計表

本を読むことが好きですか。

R2



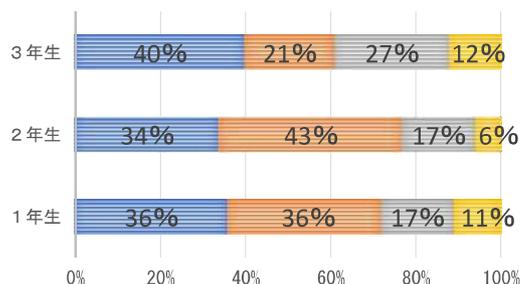
R6中学生全体



- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらかといえばきらい
- きらい

- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらかといえばきらい
- きらい

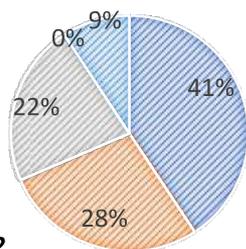
学年	1年				2年				3年			
	R6	R2	H27	H22	R6	R2	H27	H22	R6	R2	H27	H22
①好き	36%	30%	27%	49%	34%	52%	32%	36%	40%	25%	34%	42%
②どちらかといえば好き	36%	36%	43%	32%	43%	15%	42%	38%	21%	40%	37%	33%
③どちらかといえばきらい	17%	25%	23%	13%	17%	18%	15%	20%	27%	13%	20%	17%
④きらい	11%	9%	7%	6%	6%	4%	11%	6%	12%	6%	8%	8%



「どちらかといえばきらい」「きらい」と答えた人は、理由を教えてください。

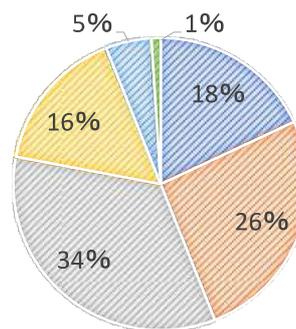
- ①読むのが苦手
- ②楽しくない
- ③面倒くさい
- ④分からない
- ⑤その他

R2



- ①読むのが苦手
- ②楽しくない
- ③めんどうくさい
- ④読む時間がない
- ⑤わからない
- その他

R6



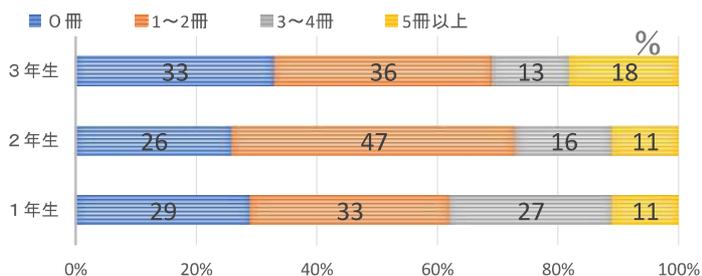
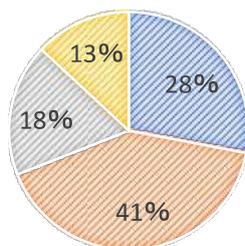
その他の意見 ・おもしろくない、つまらない

あなたは、1か月に何冊くらい本を読みますか。

学年	1年				2年				3年			
	R6	R2	H27	H22	R6	R2	H27	H22	R6	R2	H27	H22
①0冊	29%	26%	22%	2%	26%	23%	24%	13%	33%	37%	27%	15%
②1～2冊	33%	45%	51%	40%	47%	40%	53%	52%	36%	43%	47%	57%
③3～4冊	27%	17%	19%	34%	16%	22%	16%	26%	13%	13%	22%	20%
④5冊以上	11%	13%	8%	24%	11%	15%	6%	9%	18%	8%	5%	8%

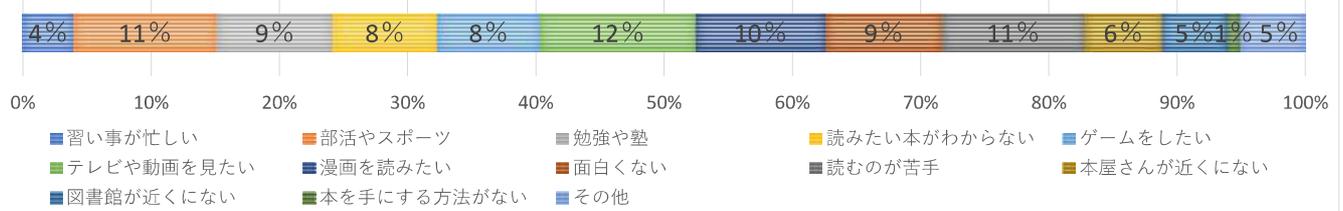
R6

- 0冊
- 1～2冊
- 3～4冊
- 5冊以上

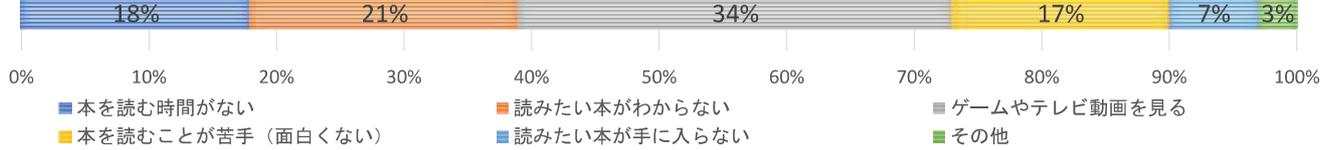


0冊と答えた人はなぜですか。

R2

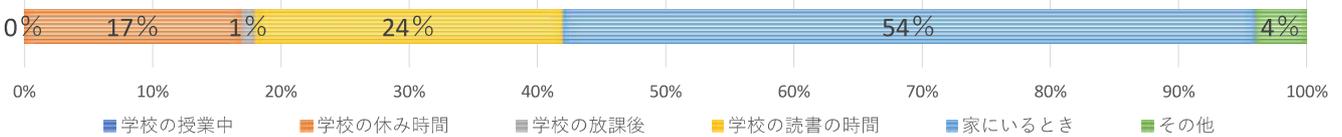


R6

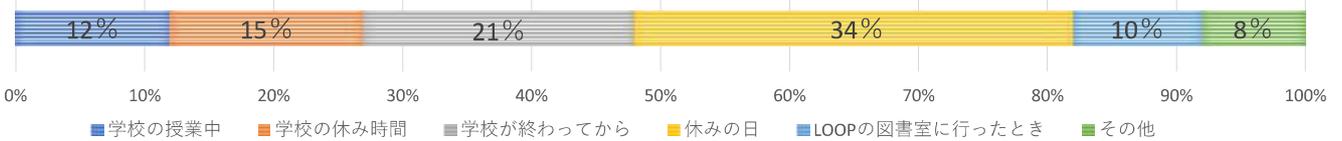


あなたはいつ本を読んでいますか。読む時間が多い時間（3つを選択）

R2

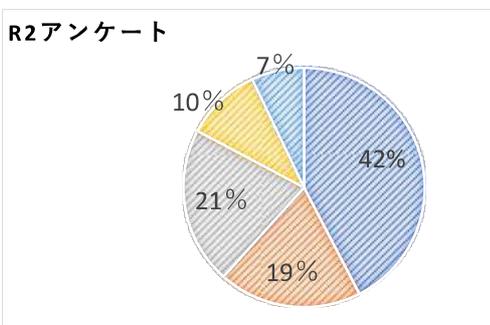


R6

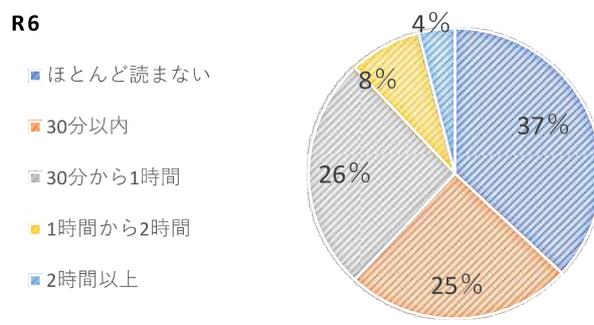


あなたが、一日に本を読む時間はどれくらいですか。

R2アンケート

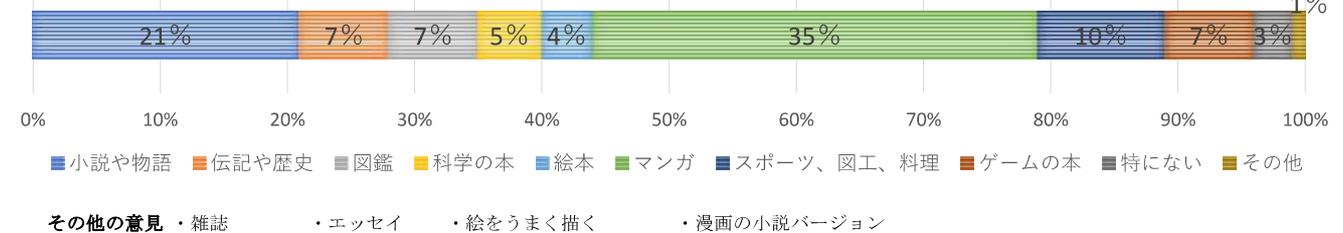


R6

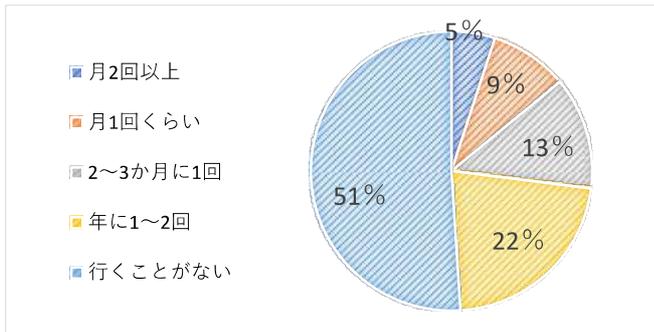


あなたは、どんな本が好きですか。（複数回答）

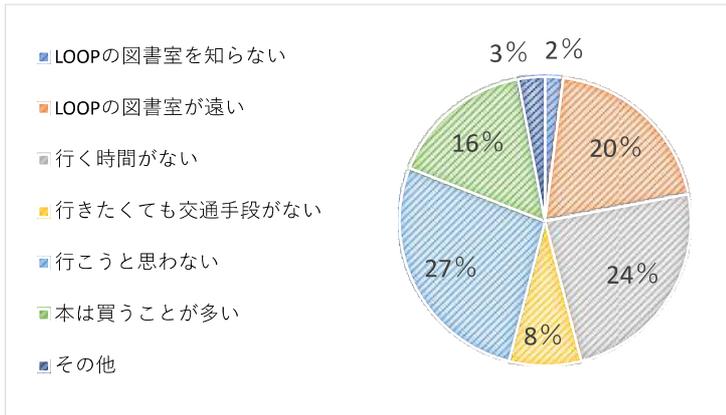
R6



あなたは、LOOPの図書室にどれくらいの回数行くことがありますか。



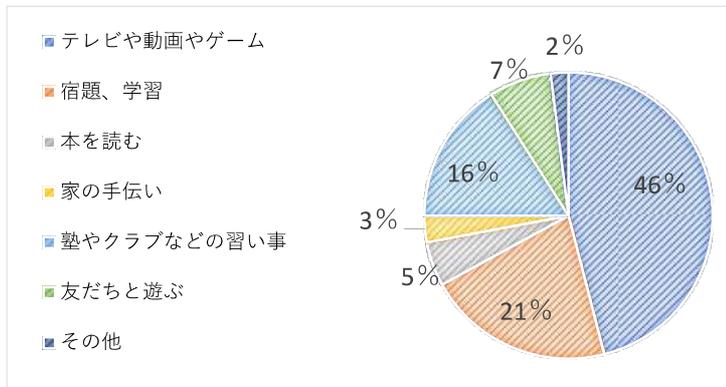
LOOPの図書室に行く機会があまりないと思う人はその理由は何ですか？（複数回答）



**その他の意見**

- ・本を買いたいと思わない。
- ・わからん
- ・いくきかいがない
- ・見たかった本が見つからない
- ・図書カードがない
- ・よまない
- ・自分が持っている本を読むから

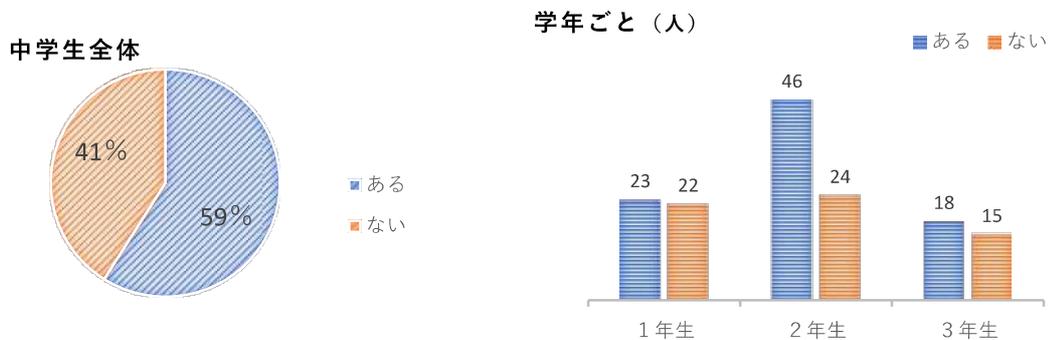
休みの日や、学校が終わってからの過ごし方で、時間を多く使っていると思うこと（2つ選択）



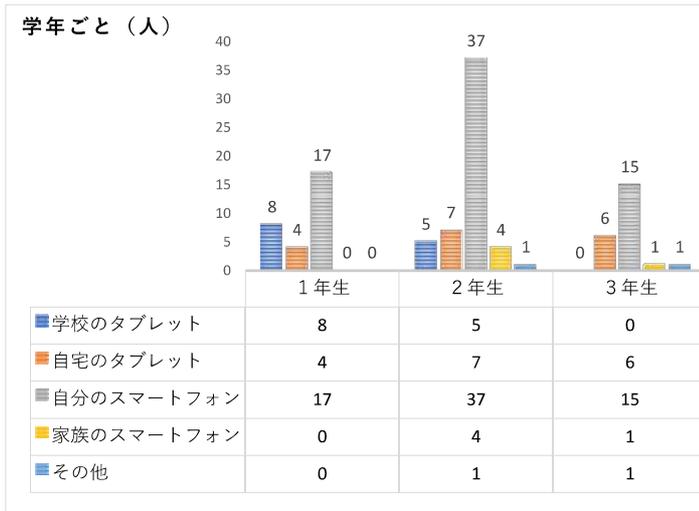
**その他の意見**

- ・日によってバラバラ
- ・わからん
- ・部活動
- ・買い物など。特に何もしていない
- ・飯とか風呂に入っていると時間がなくなる
- ・音楽

パソコンやスマートフォン、タブレットで本を読んだことがありますか。

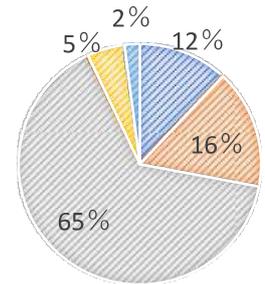


「ある」と答えた人は、何を使って読んだことがありますか。



中学生全体

- 学校のタブレット
- 自宅のタブレット
- 自分のスマートフォン
- 家族のスマートフォン
- その他

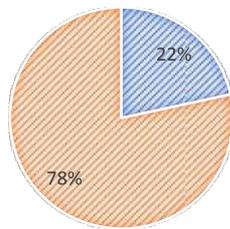


南阿蘇村電子図書館を知っていますか。また利用したことがありますか。

R2アンケート 電子書籍を利用していますか？

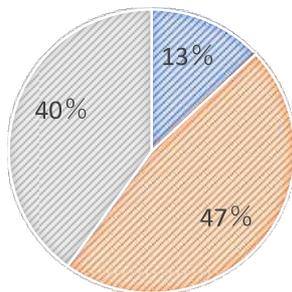
中学生全体

- ①している
- ②していない



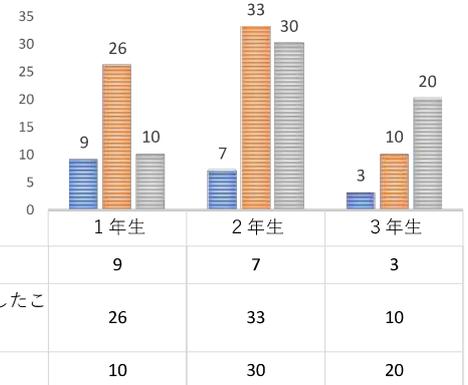
中学校全体  
R6

- 利用している
- 知っているが利用したことはない
- 知らない

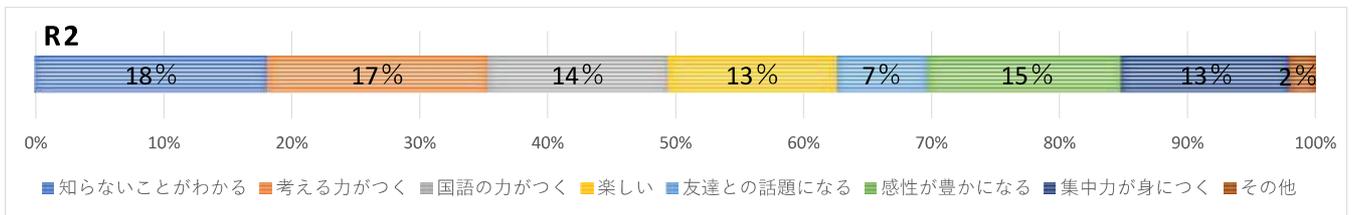


学年ごと（人）

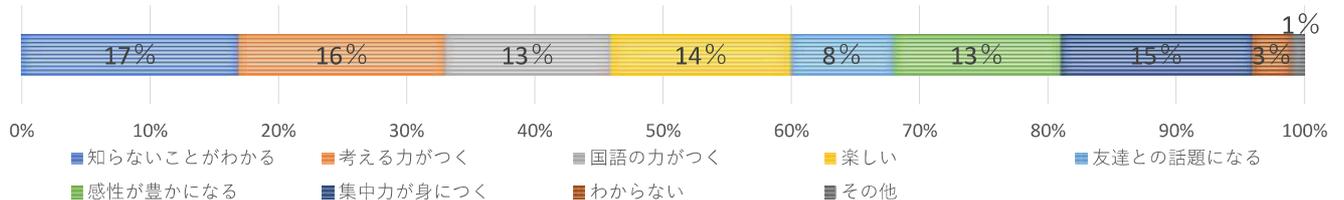
- 利用している
- 知っているが利用したことはない
- 知らない



本を読むことの良さや大切さは何だと思えますか。



R6

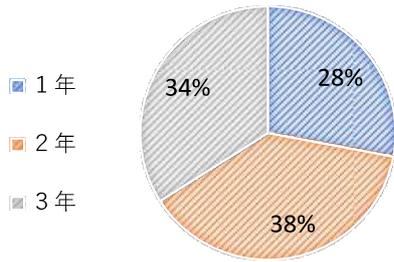


本や図書室について思うことを自由に書いてください。

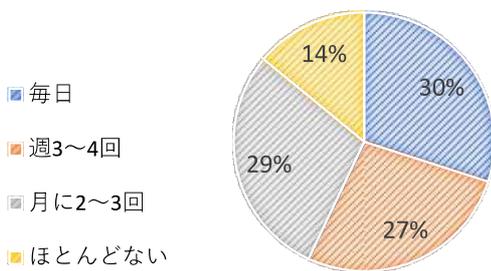
- ・図書室でしてほしいこと（少女マンガ雑誌とか、少年誌も入れてほしい）、どうやったら本が好きになるか（読めば好きになる）。
- ・もっとたくさんおもしろい本がほしい。
- ・新しい本がほしい
- ・学校の本の種類をもっと増やしてほしい。
- ・ループ南阿蘇の自習室をもっと使いやすくしてほしい。
- ・個人的には文字量が少なく簡潔にまとめてあって、人が興味を引くような本があればと思いました。
- ・いろんなジャンルの漫画をみたい。
- ・私は本を読むことだけではなく本を買いに行くことも楽しくて好きです。これからも好きな本にたくさんあっていきたいです。
- ・ループ南阿蘇が遠い。
- ・図書室に行くことがあまりありませんが、「読んでみたい」と思う本が沢山あります。
- ・読書をあまりしたことがない人向けなどのジャンル分けをする。
- ・恋愛系の小説を増やしてほしい。
- ・物語だけでなく、エッセイも読んでみたい。
- ・中学生は漫画や小説が好きな人が多いと思うからそれらの本をもっとおいて欲しいし、もっと欲しい本（人気な本など）が増えたら様々な人がもっとLOOP図書室に通いたくなると思いました。
- ・飲み物を飲める場所を作ってほしい。
- ・中学生になってから本を読む機会がとてま少なくなったから読書の時間を作ってほしい。
- ・ちょっと暑い。
- ・LOOP南阿蘇に個別の勉強スペースを作ってほしい。理由（隣に知らない人がいると集中しにくいから。）
- ・本は読む分だけ、国語力や読む能力が上がると思うから、たくさん本を読んだら、好きになったりすると思う。
- ・静かでもとても集中できるのでいいところだと思っています。
- ・漫画、小説、物語、図鑑色々な本があって楽しいところ。
- ・LOOPなどの図書館は、本等がきれいに並べてあって自分の家も本がいっぱいあるからきれいに並べようと思いました。だから図書室で本を見たあとは、きれいに並べて使ってほしいです。
- ・読んでみたい本は、料理の本です。
- ・休憩場所がある事。
- ・LOOPのことをよく知らないから知りたい。
- ・授業のときに行ってみたらもっとみんな使うようになるかもしれない。
- ・絵に関する本を読んでみたい。本を読む場所があるのが嬉しい。

# 中学生保護者 集計表

お子さんは何年生ですか。

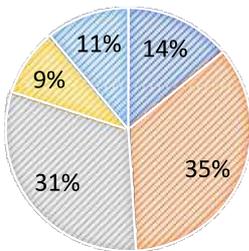


あなた（もしくは家族）は、お子さんが小さい頃、どれくらいの回数、本を読んであげていましたか（いますか）。

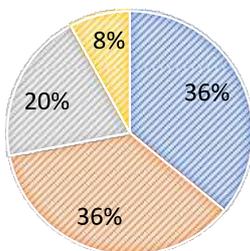
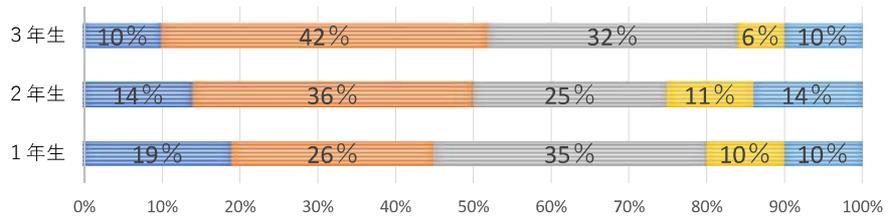


お子さんは本を読むことが好きですか。

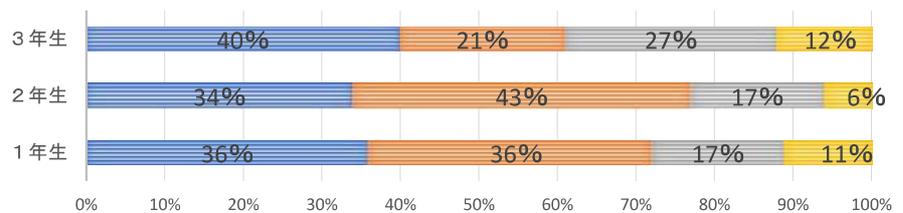
保護者



■好き ■どちらかといえば好き ■どちらかといえばきらい ■きらい ■わからない

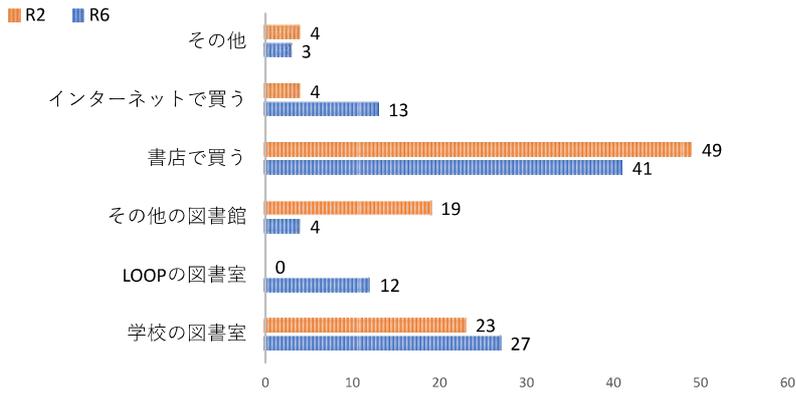


■好き ■どちらかといえば好き ■どちらかといえばきらい ■きらい



中学生の回答

お子さんが家で読む本は、主にどのようにして手に入れていますか。



	R6	R2	H27
学校図書館	27%	23%	31%
LOOP（村）の図書室	12%	0%	1%
その他の図書館	4%	19%	13%
書店で買う	41%	49%	49%
インターネットで買う	13%	4%	6%
その他	3%	4%	0%

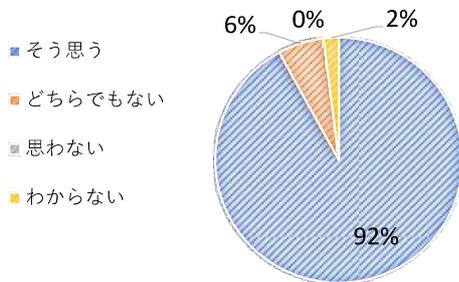
その他の図書館

大津図書館8人  
熊本市立図書館1人

その他の意見

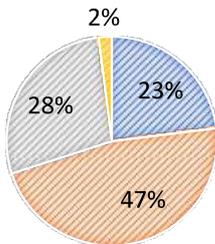
すみませんがブックオフで  
借りないし買わない  
兄の本  
友達からかりる

読書はお子さんにとって大切だと思いますか。

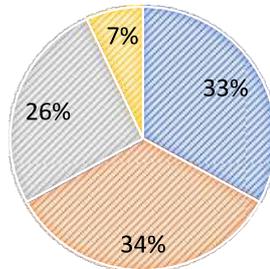


あなた自身は、読書は好きですか。

R2



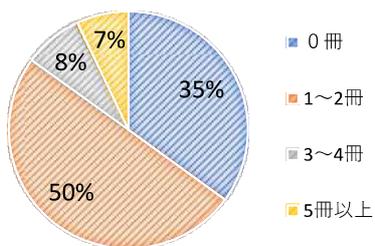
R6



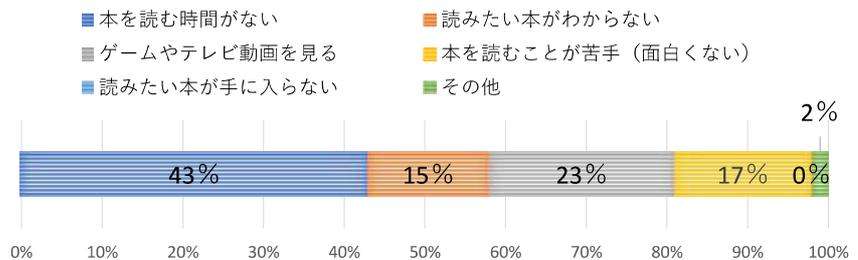
- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらかといえば嫌い
- 嫌い

あなた自身は、1か月に何冊くらい本を読みますか。また「0冊」と答えた人はその主な理由

何冊くらい本を読みますか



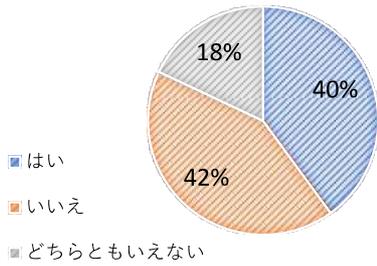
0冊と答えた人はその理由



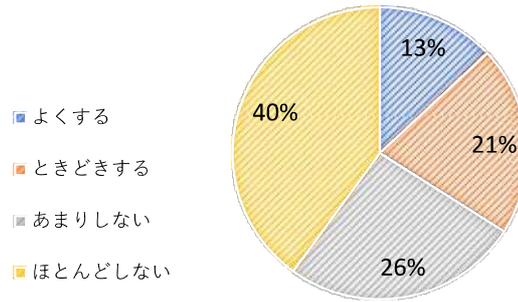
その他の意見・読みたい本がない

お父さんは、家で読書をしますか。

R2

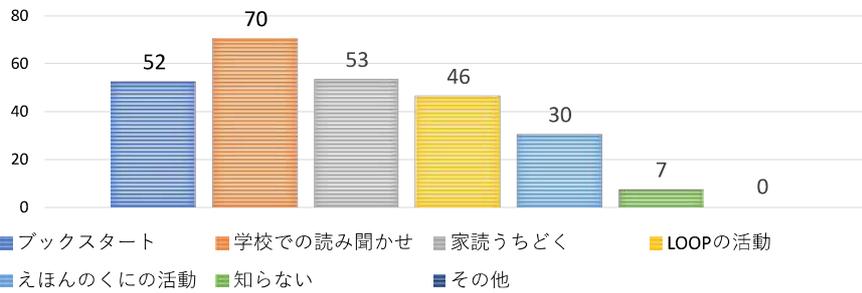


R6



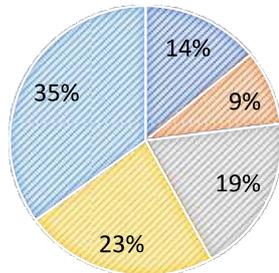
本村内で行われている「子どもの読書活動推進」につながる以下の活動で、あなたが知っているものはありますか。（複数回答可）

中学生保護者 複数回答（人）



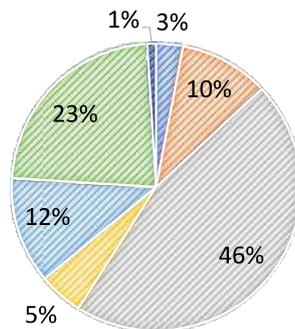
あなた自身は、LOOPの図書室にどれくらいの回数行くことがありますか。

- 月2回以上
- 月1回くらい
- 2~3か月に1回
- 年に1~2回
- 行くことがない



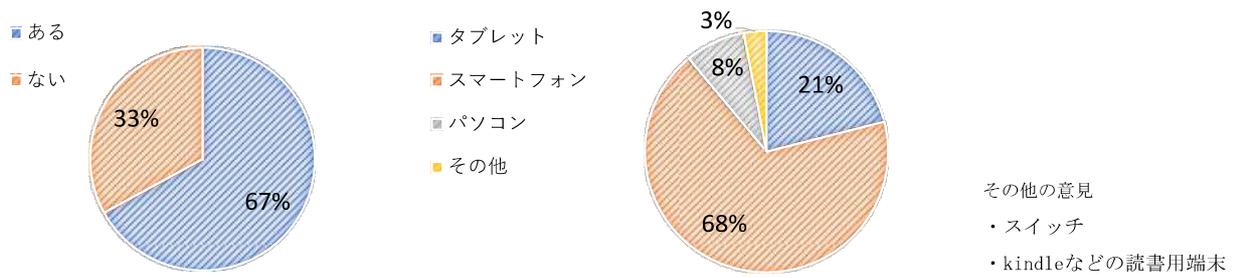
LOOPの図書室に行く機会が少ないと思う人はその理由はなんですか？

- LOOPの図書室を知らない
- LOOPの図書室が遠い
- 行く時間がない
- 行きたくても交通手段がない
- 行こうと思わない
- 本は買うことが多い
- その他



その他の意見  
必要としていない

パソコンやスマートフォン、タブレットで本を読んだことがありますか。「ある」と答えた人は何を使って読んだことがありますか。

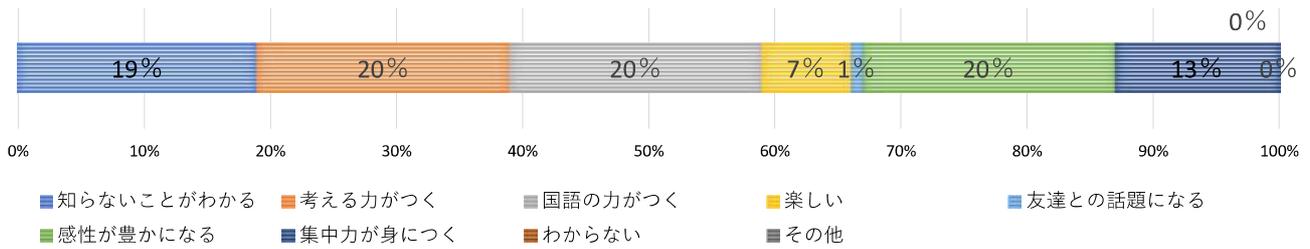


南阿蘇村電子図書館を知っていますか。また利用したことがありますか。

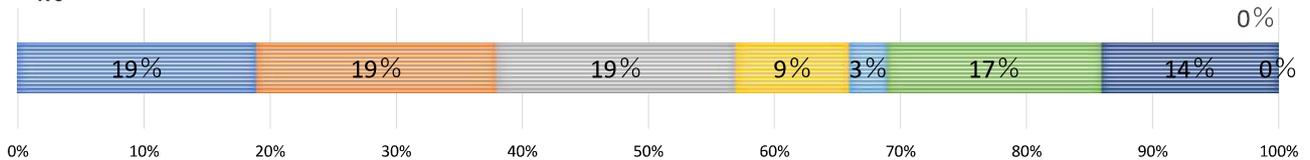


本を読むことの良さや大切さは何だと思いますか。

R2中学生保護者



R6



子どもの読書活動推進に関して、保護者の意見を自由にお聞かせください。  
(参考: どうすれば子どもが読書に親しむようになると思いますか? また、子どもたちの自律的主体的読書活動のために課題となるものは何でしょうか? など お聞かせください。)

- ・ LOOP図書室はとてもきれいで読んでみたい本がたくさんあります。子どもはマンガがもう少したくさんあったらいいと言っています。
- ・ SNSを使用する時間が長く、ふれる機会が多いのでなかなか難しいと感じます。学校でおすすめの図書の紹介や、本を読む時間があると本に関わる時間が増えると思います。
- ・ テレビ、タブレット、スマートフォンなど読まなくても耳や目から面白い映像や情報が入ってくるので、読書離れていると思います。メディアから引き離すことができれば、少しは違うかもしれません。マンガからでも知らない情報や人の感情などがどのように動くのかとか知ることができるので、小説じゃなくてもせめてマンガを読んでほしいです。知らない漢字や言葉を知ることができるので、読書はしてとよく言っています。興味のあることは読むので、例えばゲーム攻略本、マジックの本、なぞなぞ、心理テスト、心霊現象、とか喜んで読みそうです。
- ・ 難しいですね。広い村内、図書館も本屋も自力で行ける子は限られていますし、身近な学校の図書館も、昼休みは短く(遊ぶ方が楽しい)放課後も居残れないとなるとなかなか自主的に利用する機会も少ないのかもしれませんが。そこを補うのが電子図書のはずですが…私自身もやはり選ぶのは紙の本ですし、子どもにも本という形式そのものに親しんでほしいと思っています。本の中にいるんな人のいろんな考えが、世界があるということ、その豊かさに驚き心動かされる経験を積まないことには本に手が伸びないのは当然なので…それは動画などのより安易で刺激的な娯楽を楽しむよりは少し努力を要するかもしれませんが、各家庭では難しい場合もあるのも、公共の場で本に出会う機会をほんの少しでも増やすしかないのかなと思います。例えば総合や国語の時間にループを頻繁に利用できたり(久木野以外はパスが必要…)するといいいし、大人に付度した答えを求められる道徳の授業はやめて、代わりに読書時間にした方がいくらかましとも思っています。
- ・ 私も夫もいわゆる「本棚のない家」育ちですが、今は本棚に家を占領される暮らしです。どこで読んだかも忘れてしまった本が、今ここにしかいられない自分の世界を広げてくれたのだと感じています。村の子どもたちにも、どうかそういう本との出会いがあるように願います。
- ・ 村の図書室へ、全小学生が放課後定期的に学校からバスで行けるようなシステムがあれば自然に本を読んだり、宿題をしたりして過ごせると思う。家にいれば、ゲームやテレビばかり誘惑が多い。土日も図書室へ停車する村内バスや、乗り合いタクシーの子どもの安全な利用活用を検討して欲しい。
- ・ 本を読まないから国語の文章問題に弱い。読めば良いのにと思うけどなかなか読まない。スマホと同じぐらい本も手放せない存在になると良いのですが。
- ・ 幼いころに読書時間を強制的につくる。興味のある本と一緒に探す。インターネットの動画視聴などが増えて読書の時間が減ってしまったので動画視聴を減らすのが今の課題です。
- ・ テレビ、ゲーム、スマホがなければ、子どもたちは自然と読書しますよ。
- ・ 古本をループで集めて、交換会などいかがでしょうか。
- ・ 情報を得るためのツールが充実しているため(PCやスマートフォンなど)、本を読むという価値が下がっていると思う。映像に慣れているため、活字を読むということが苦痛になりがちで、漫画すら興味を持たない。小さい頃は本が大好きで読み聞かせも積極的に行っていたのですが…。大人の私でもそうですが、気が向かないと読まないですし、反対に、仕事に必要な資料等はしっかりと読み込みます。(読書ではありませんが)
- 一時的に読書離れしたからといって、その先もずっと本を読まないというわけでもないのかな…と思いました。子どもも大人も慌ただしいですし、仕方ない部分もあるのかなとも感じます。
- ・ 学校図書の本蔵数が増えたと良いなと思います。
- ・ 小さい時に本に触れ合う機会が必要と思う。それが自分で本を読む習慣へ繋がると子どもの成長を見て、そう感じます。
- ・ 知りたい分野を見つける。ゲームやメディアをしなくて暇な時間を作る。
- ・ 小さい頃から本を見たり読んだりする習慣をつける事。私も本を読む事が大事だと分かっているけどなかなか集中して読むのが大変で、また買ったり借りてきたりして読むのが面倒。読書が大事だと今は分かるので子供が小さい頃から本をしっかり見せたり読んであげたりしてればと…。親が家で読書をしている家庭は子供も必然と読書をすると思います。
- ・ 読書離れが言われていますが、学校では朝読書の時間があったり、バスの中で読んだりしているので、子どもたちは大人より読書する機会があっという間と思います。
- ・ LOOPまでのシャトルバスやタクシーの様な、子供が利用できる移動手段を整備して欲しい。遠くて結局親の送迎が必要なので、行くのにハードルが高い。気軽にいけないので図書室に馴染みがない気がする。
- ・ 本の充実
- ・ 子ども自身の楽しみを、読書と比べて否定しないこと
- ・ 小さいときからスマホやタブレット使用を一切禁止する。
- ・ 中学校の図書室が利用しにくい。時間も短く、ゆったり本を選ぶ、本を読む環境が無いと子どもから不満も聞こえます。また、学校がどのように図書室を活用しているかのお知らせや報告もないので知る由もありません。学校には学校司書の先生がいらっしゃることも大事です。子どもたちの希望に沿えるレファレンスのできる方をぜひお願いします。
- ・ 交通手段に限られる南阿蘇において白水地区はLOOPまでが遠く、乗合タクシーも使いにくい上に有料です。子どもに関わる事業については、図書館に限らず、B&Gプールやグラウンド、体育館なども含めて、文化的、教育的格差の是正の面からも子ども(18歳まで)はタクシーやバス、列車の無料化をぜひご検討ください。(バスは1時間に1本は巡回して欲しいです。)
- ・ 小さい頃は読んであげること、一緒に過ごす時間を楽しんでいたと感じます。大きくなったら本を読む時間を一緒に楽しめたらと思っていました。しかし、中学生となると忙しいようで、その時間を持つ事が出来ません。子どもが本に関心を示すよう環境作りも大事ではないかと思えます。我が家では小さい頃に読み聞かせた絵本、特に子どもが何回も読んでと言った絵本を、枕元に数冊置いています。何気なく手にとって読んでいる時もあります。読書となると難しい本、字の多い本を読まなくてはならないと思いがちになりやすいけれど、何歳になっても読書-絵本が良いと思えます。『読書』という言葉に身構えてしまう傾向があるのでは感じます。子どもたちがもっと気楽に本が楽しめたなら良いのになあと思えます。
- ・ 子どもが読んでいるのは漫画ばかり。小説など文字ばかりの本を読んでいる様子はない。
- ・ 子どもたちは本からの知識を得るより、WEBで要約された情報を得る方が楽なので、なかなか読書活動に結びつかないようです。また、同時に複数の作業(例:ゲームをしながら動画を見るなど)を行うので、視覚を読書だけに使うことはパフォーマンス的に劣ると考えているくらいがあるように思います。
- ・ 電子図書館にオーディオブックなど聞き流せるものを導入し、好きな俳優の声(声優)だから聞いてみたいといった、いわゆる『推し活』的な入り口から読書につなげてみるのも良いのかな、と思いました。
- ・ 家でももっと電子図書館を利用推進していこうと思います。
- ・ あくまでも強制はしない。親など教師も含め周囲の大人が楽しそうに読んだり話題にすれば、子ども達は興味を持つはず。
- ・ 読み聞かせなどで小さい時から本に親しむ機会があれば自然と自ら読み始める。
- ・ 自力で図書室に行けない子ども達にとって家族の人が連れて行ってくれない限り図書室は遠い存在。
- ・ 蔵書数が少ないと図書室の魅力は少なくなる。
- ・ 子どもの時から図書室(図書館)を利用しないと大人になっても行く必要のない施設になる。その子ども達も連れて行ってもらえないので、どの世代も本を読む習慣がなくなるループとなる。
- ・ 南阿蘇に書店があればいい。
- ・ 私自身が本好き活字好きなので自分の子どもが本を読まないことを残念に思っている。寝る前の絵本の読み聞かせは好きだったので物語自体は嫌いではないと思う。ただ、スマホやテレビでゲームや動画など簡単に視覚で捉えることに慣れてしまい、活字を読むのが面倒くさく感じているよう。読んだ内容を頭の中で思い描き、想像することを楽しいと感じてもらえない。図書館にも何度も連れていっているがまるで関心がない。子どもの読書習慣のなさは私にとっても大きな課題なのでぜひ良い案を教えてください。

## 南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

平成 22 年 4 月 1 日  
教育委員会訓令第 1 号

(設置)

第 1 条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成 13 年法律第 154 号）第 9 条第 2 項の規定に基づき南阿蘇村子ども読書活動推進計画を策定するため、南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる事項について調査検討する。

- (1) 子どもの読書活動推進計画に関すること。
- (2) 子どもの読書の意義と現状把握に関すること。
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

(委員)

第 3 条 委員会の委員は別表の中で組織し、委員は教育長が委嘱する。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長および副委員長)

第 5 条 委員会に委員長および副委員長各 1 名を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときまたは委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会の会議（以下「会議」という。）は委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 委員長は、会議に必要な関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、教育委員会社会教育係において処理する。

(その他)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

この訓令は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この訓令は、平成 22 年 6 月 1 日から施行する。

別 表

南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員

番号	職 種	備 考
1	小学校図書担当	
2	中学校図書担当	
3	保育所保育士	主任保育士
4	読み聞かせボランティア	村内
5	教育委員会図書担当	社会教育係
6	行政及び学識経験者	村内

# ○子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)

(法律第百五十四号)

第百五十三回臨時国会

第一次小泉内閣

子どもの読書活動の推進に関する法律をここに公布する。

子どもの読書活動の推進に関する法律

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努

めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。